

那覇市国際通りトランジットモールビジョン（将来像）

報告書



2018年3月

 那覇市

目次

1.那覇市国際通りトランジットモールビジョン(将来像)に向けて

1.1 はじめに	1
1.2 国際通りを中心としたこれまでの経緯・取組	3
1.3 上位関連計画	4
1.4 ビジョン策定の主旨	8
1.5 ビジョンの位置付け	8

2.国際通りを取り巻く状況及び課題

2.1 国際通り及び周辺地域の現状	9
2.2 中心商店街の来訪者数	23
2.3 中心商店街の来訪者数と商店街売り上げ	23

3.国際通りトランジットモールの実績と評価

3.1 トランジットモール事業実績	24
3.2 トランジットモール実施時の周辺道路の交通状況	25
3.3 国際通り各商店街振興組合からの意見	27
3.4 市民、国際通りや周辺事業者へのアンケート調査結果	29

4.目指すべき将来像

4.1 将来像	45
4.2 国際通りトランジットモールの主要課題	45
4.3 想定される具体的方策の検討	49

5.参考資料

5.1 円卓会議及び関係者調整	65
5.2 ビジョン実現に向けた今後の進め方のイメージ	81

1. 那覇市国際通りトランジットモールビジョン（将来像）に向けて

1.1 はじめに

「国際通りの魅力的な歩行空間・商環境創出に向けた国際通りトランジットモールビジョンづくり」

- 那覇市の中心市街地は、商業や観光などの産業の中心地であるとともに、歴史的・文化的な魅力あふれる地域資源が数多く存在し、多くの観光客を惹きつける、那覇市のみならず沖縄県の「顔」となっている区域です。
- その中心市街地の骨格となる国際通りは、人に優しいまち・歩いて楽しいショッピングモールをめざし、平成19年2月より日曜12時から18時の時間帯は、トランジットモールとして運用されています。しかし、本格実施から10年が経過し、環境が大きく様変わりしています。
 - ✓ 中心市街地の居住人口、事業者数、従業者数は減少傾向
 - ✓ 地元市民の中心商店街離れが進むものの、訪日外国人を含む県外観光客は増加
 - ✓ トランジットモール運営時の公共交通の利便性、アクセス性の低下（駐車場等）
 - ✓ 国際通り及び周辺道路の渋滞等
- このような状況に対応し、国際通りを魅力的な環境とするためには、関係者と連携した継続的な取り組みを行うためのビジョンづくりが必要とされています。

トランジットモールとは

人々が集い憩う魅力的で安全な歩行空間「トランジットモール」

- 中心市街地やメインストリートなどの商店街を、歩行空間(モール)として整備するとともに、バスや路面電車など公共交通(トランジット)だけを通行させ、モール内や外部空間とモールを結ぶ安全で快適な移動手段として活用します。
- 買い物や散策などトランジットモールに集い憩う人々の姿は、ゆとりと賑わいに満ちた街づくりの象徴です。

アメリカ・デンバーのトランジットモール



出典: National Association of City Transportation Officials
<https://nacto.org/references/san-francisco-county-transportation-authority/>

ドイツ・フライブルクのトランジットモール



出典: 国土交通省HP
http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/lrt/lrt_index.html

国際通りトランジットモール概要

(1) 区間

- 国際通り(県道牧志39号線)約1.6 kmの内、約1.3 kmの区間(県庁北口交差点から蔡温橋交差点まで)



(2) 実施期間

- ほぼ毎週日曜日の12:00~18:00 まで

(3) トランジットモールの内容

- 誘導員を配置して、一般車両の通行を規制し、歩行者に開放
- 数箇所のパフォーマンスエリアを設け、イベント(エイサーや大道芸など)を開催
- オープンカフェや宣伝事業など直接の物販以外の取り組みを実施(個店主導)
- 個店による子供たちの遊び空間の創出など、独自の取り組みを実施
- 区間内移動手段として、トランジットバス・ペロタクシーが走行



1.2 国際通りを中心としたこれまでの経緯・取組

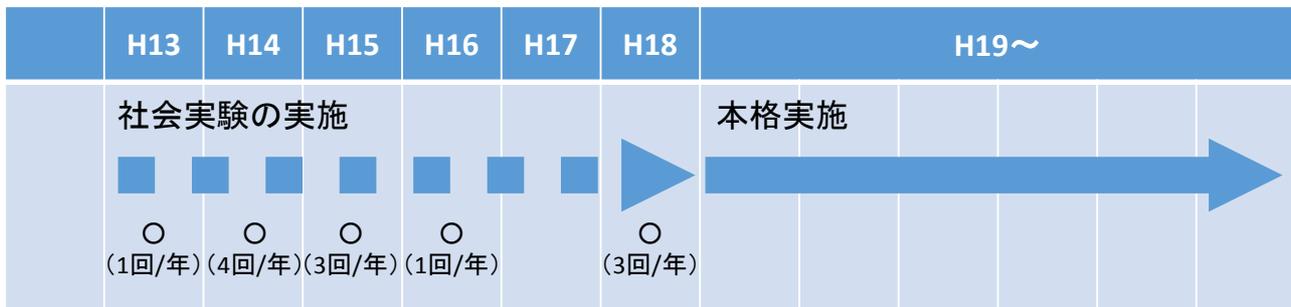
トランジットモール実施の目的

- トランジットモールを実施するにあたって、街の賑わいを創出し、観光客だけでなく地元客の誘客につなげ、また、車から公共交通への利用転換を促進し、環境の改善を図ることを目的としています。

トランジットモール実施の経緯・取組

- 那覇市の中心市街地は、戦後一貫して国際通りを軸として発展してきました。しかし、相次ぐ大規模商業施設の郊外への出店などによって、昭和 60 年頃から地元客や店舗数などが年々減少し、他の多くの地方都市と同様にその活性化が課題となっています。
- このような状況に対して、当時の国際通り商店街振興組合連合会、商工会議所、那覇市などが連携し、地元客を呼び込むための様々な対策が検討された結果、国際通りを魅力ある空間とするためにトランジットモール化する案を検討し、社会実験を実施しました。
- 平成 13～18 年度まで、12 回の社会実験を行った後、週一回の定常的实施が決定され、平成 19 年度より国際通り商店街振興組合連合会を主体に本格実施をしています。

表 本格実施までの流れ

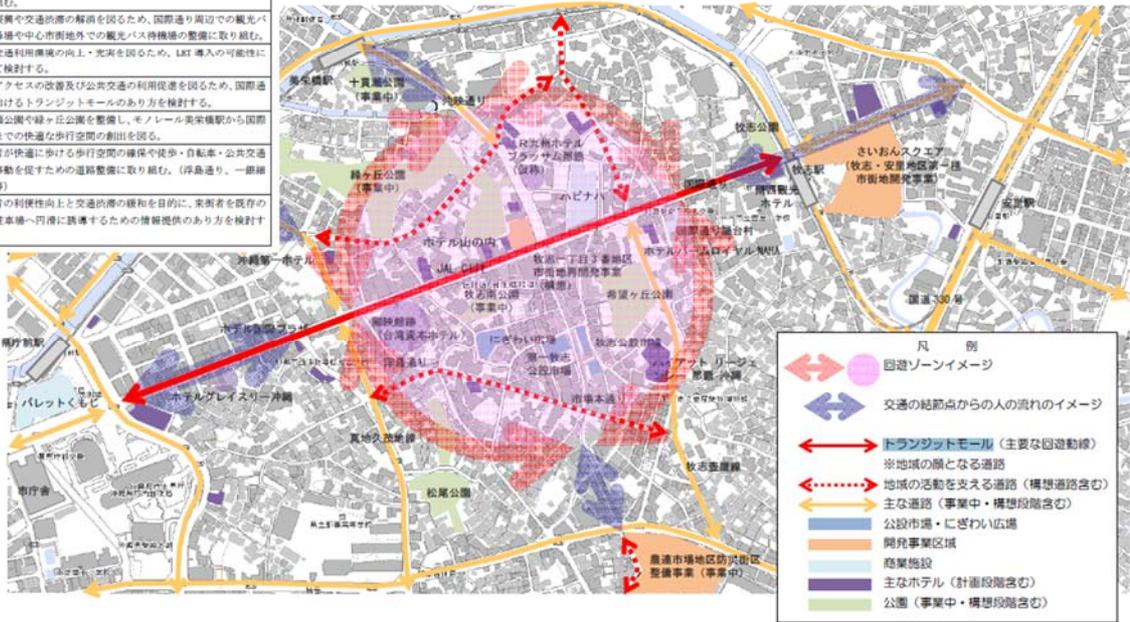


那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画（H28.3）

- 主な回遊動線として地域の顔となる道路
- トランジットモールの拡充として、交通アクセスの改善及び公共交通の利用促進を図るため、国際通りのトランジットモールのあり方を検討
- 国際通りやマチグァーにおける賑わい創出及び商業活動の活性化を図る事業として位置づけ

更新に取り込む内容

項目	取り組み内容
パークアンドライド ト駐車場整備	公共交通への利用転換を促し、中心市街地内での自動車抑制を図るため、赤嶺駅周辺等において、乗り換えのための駐車場整備に取り組み。
観光バス乗降場・待 機場の整備	観光振興や交通渋滞の解消を図るため、国際通り周辺での観光バス乗降場や中心市街地外での観光バス待機場の整備に取り組む。
新交通システム の導入	公共交通利用環境の向上・充実に図るため、LRT導入の可能性について検討する。
トランジットモー ルの拡充	交通アクセスの改善及び公共交通の利用促進を図るため、国際通りにおけるトランジットモールのあり方を検討する。
公園整備と併せた 歩行空間の創出	十貫堂公園や緑ヶ丘公園を整備し、モノレール美栄橋から国際通りまでの快適な歩行空間の創出を図る。
快適な歩行者・自転 車空間等の創出	来街者が快適に歩ける歩行空間の確保や徒歩・自転車・公共交通での移動を促すための道路整備に取り組む。（浮島通り、一帯通り等）
駐車場への円滑な 誘導	利用者の利便性向上と交通渋滞の緩和を目的に、来街者を既存の空き駐車場へ円滑に誘導するための情報提供のあり方を検討する。



那覇市都市計画マスタープラン（H24.3 一部改定）

- 国際通りや平和通りなどの沖縄独特の雰囲気を活かした回遊性のある観光・商業地の形成を進め、「出会い」「ふれあい」「にぎわい」のある国際・商業・観光都心の形成をめざす
- 中心市街地活性化基本計画や市街地再開発事業と連携した、交通の面からまちの活性化を支えるための施策の戦略的な展開
- 歩行者優先ゾーンの設置と、徒歩、自転車、公共交通での移動促進による、地元客や観光客が快適に歩ける歩行空間の整備
- モデル性の高い基幹的公共交通の導入
- 国際通りのトランジットモールの拡充による那覇の顔づくりとそれを支える地区幹線道路の整備
- 駐車施設（フリンジパーキング）の整備と都心部への乗り入れの抑制

7 那覇中央地域

～出会い・ふれあい・にぎわい那覇のまち～

住宅の中高層化の誘導によるアメニティの高い都市型住宅地の形成を図るとともに、国際通りや平和通りなどの沖縄独特の雰囲気を活かした回遊性のある観光・商業地の形成を進め、「出会い」「ふれあい」「にぎわい」のある国際・商業・観光都心の形成をめざします。



市街地の修復と保全の方針

- 沖縄の顔としての風格を備えた商業・業務地の形成
- 歴史的住環境保全と歴史・文化が生きたちやむんの里づくり
- 木造密集住宅地の修復による都市型住宅地の形成
- カーブ川線の整備と併せたマチグァーの魅力を残した市場の再生
- モノレール駅周辺や都心環状線との結節点での拠点開発

土地利用方針

- 国際通りを中心とした商業観光ゾーンの形成
- 広域的な行政・業務地区の形成
- 高度利用とオープン空間の創出による魅力ある都市型住宅地の形成



道路・交通形成方針

- 中心市街地活性化基本計画や市街地再開発事業と連携した、交通の面からまちの活性化を支えるための施策の戦略的な展開
- 歩行者優先ゾーンの設置と、徒歩、自転車、公共交通での移動促進による、地元客や観光客が快適に歩ける歩行空間の整備
- モデル性の高い基幹的公共交通の導入
- 国際通りのトランジットモールの拡充による那覇の顔づくりとそれを支える地区幹線道路の整備
- 駐車施設（フリンジパーキング）の整備と都心部への車の乗り入れの抑制

アメニティ・景観形成方針

- 既存公園のアプローチの整備
- 久茂地川、潮波川などの水辺空間の親水化及びプロムナード化
- 歴史的・伝統的な景観整備の推進
- 歴史・文化遺産などの保全及びネットワーク化
- 都心部にふさわしい魅力ある景観形成
- 安里川、久茂地川などの治水整備
- 国際通りやマチグァーなどの商業地のにぎわい景観の保全活用と創出

那覇市交通基本計画（H22.3（H26.4 一部改定））

- トランジットモールは、一般車両通行を抑制し、公共交通や歩行者を中心とした取組で、那覇市の掲げる「誰もが移動しやすいまちをつくる」という目標達成に寄与。



那覇市総合交通戦略（H22.3）

- 交通の面からまちの活性化（魅力向上）を支えるための施策を戦略的に展開
- 歩行者優先ゾーンを設け、自動車交通の抑制と徒歩・自転車・公共交通での移動を促し、地元客や観光客が快適に歩ける歩行空間確保
- モデル性の高い基幹的公共交通の導入と併せ、中心市街地の活性化に向けたトランジットモールの拡充や地域の活動を支えるための生活道路の整備等のまちづくりと連動した交通環境整備を行うことにより、那覇市のシンボルとなる人中心の賑わいのあるまちづくりを実現



沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会

- 道路空間の再編に向け、以下の検討を実施予定。

【現状】

- 国際通りは沖縄の玄関口として多くの観光客が来訪するスポットの一つ
- 国際通りは、過度な自家用車依存から脱却を図るためのモデルとして、歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編・創出などに取り組むことが必要とされているものの、自家用車、貨物、タクシー、レンタカー等多くの車が流入し、渋滞が激しい道路の一つ



国際通りの往来状況



荷捌き車両を要因とした混雑

(1) 渋滞対策の交通環境改善に向けた検討

観光客に対する沖縄の玄関口として安全に楽しく歩ける空間をめざし、荷捌き車両、違法駐車などの対策など道路空間の環境改善に向けた検討

◆平成29年度 前期：調査対策検討、後期：実証実験等の実施

●関連する取り組み

(トランジットモール実施拡大)

トランジットモールの実施曜日、実施時間帯、実施エリア、運営内容などの実施拡大に向けた検討

(レンタカー対策)

国際通り及び周辺地域におけるレンタカー車両の流入理由の調査、抑制のための手法の検討

TDM施策推進アクションプログラム

- 沖縄県では、「沖縄県総合交通体系基本計画(平成24年度～43年度)」を踏まえ、計画期間内(5年間)に重点的に検討・推進を図る施策として「TDM施策推進アクションプログラム(平成29年6月)」に位置付け。

(10) 国際通りトランジットモール

【施策のねらい】

- 人と公共交通により生み出される快適な商業空間の創出を図るとともに、それに伴う中心市街地の活性化を図ります。

【施策の展開方針】

- 「国際通りトランジットマイル」の実施拡大(休日における実施時間帯の拡大、平日におけるトランジットモール化)に向けた実現化方策の検討を行います。

【施策の推進体制】

- 那覇市国際通り商店街振興組合連合会が主体となり、那覇市経済観光部なはまちなか振興課等、沖縄県警察本部、交通事業者等が参画している那覇市国際通りトランジットマイル導入委員会により推進・展開していきます。

<これまでの取組>

那覇市

- 平成19年に開始された毎週日曜日のトランジットモールが、平成28年も継続して実施

<今後の課題>

- 沖縄総合事務局主催の有識者懇談会において、徒歩・自転車にも優しい道路空間の再編・創出として、国際通りのトランジットモール化が提言
- トランジットモールの実施曜日、時間の拡充による効果を明確にし、平日のトランジットモール化に向けた検討が必要



<施策の展開イメージ>

項目	検討内容・実施内容	◆施策関係主体							実施年度						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	~H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34~
現状の課題整理	国際通りトランジットモール実施拡大に向けた課題整理	◎	○	○	○	○	○	○							
	国際通りの現状交通課題の整理・商店街、来訪者アンケート・歩行者、交通量調査等	◎	○	○	○	○	○	○							
実施方法の検討	国際通りトランジットモールビジョン策定の検討	◎	◎	○	○	○	○	○							
	イベント実施内容の検討・実施時間帯、イベント内容等の検討	◎	○	○	○	○	○	○							
施策実施・広報	効果的なバス運行方法の検討・走行ルート、頻度、交通への影響検討等	○	○	○	○	◎	○	○							
	継続的な効果測定方法の検討・来街者数、商店街の売り上げ等の測定	◎	○												
評価課題の整理	実証実験の実施・ビジョンを踏まえ、休日時間拡大、平日における実施・現況課題への対応等	◎	○	○	○	○	○	○							
	国際通りトランジットモールビジョン策定後、実証実験を踏まえた本格実施	◎	○	○	○	○	○	○							
	実施効果の評価、課題把握と改善点の検討	◎	○	○	○	○	○	○							

※当該施策は施策関係主体①を中心に推進する

◆施策関係主体(主担当主体:◎、関係主体:○)

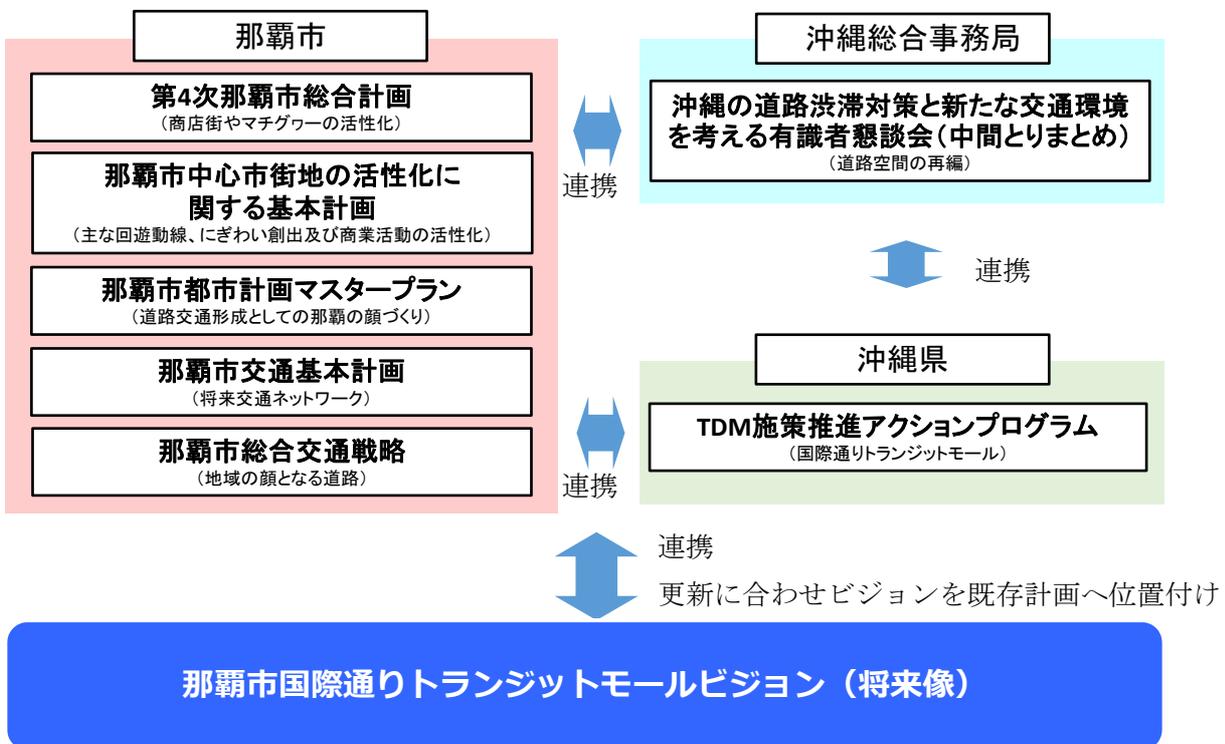
- ①那覇市国際通り商店街振興組合連合会
- ②那覇市経済観光部なはまちなか振興課
- ③那覇市都市計画課
- ④沖縄県警察本部
- ⑤バス事業者
- ⑥沖縄県土木建築部道路管理課
- ⑦沖縄総合事務局開発建設部

1.4 ビジョン策定の主旨

- 国際通りで実施しているトランジットモールは関係機関が多く、現状や課題等の整理がこれまで行われておらず、改善策に向けた取組みができず現在に至っています。トランジットモールの今後の方向性を統一して定めることで、多くの関係機関と連携して課題解決に向けた取組みへと繋げる事ができるため、ビジョン策定が必要とされています。
- 策定したビジョンにより、国際通りがさらに魅力的な歩行空間・商環境となるよう目指し、中心市街地の活性化を図れるよう推進していきます。

1.5 ビジョンの位置付け

- 本ビジョンの位置付けを以下の通りとします。
- 今後、関係機関の既存計画の更新に併せて本ビジョンを位置付けていくことも重要です。



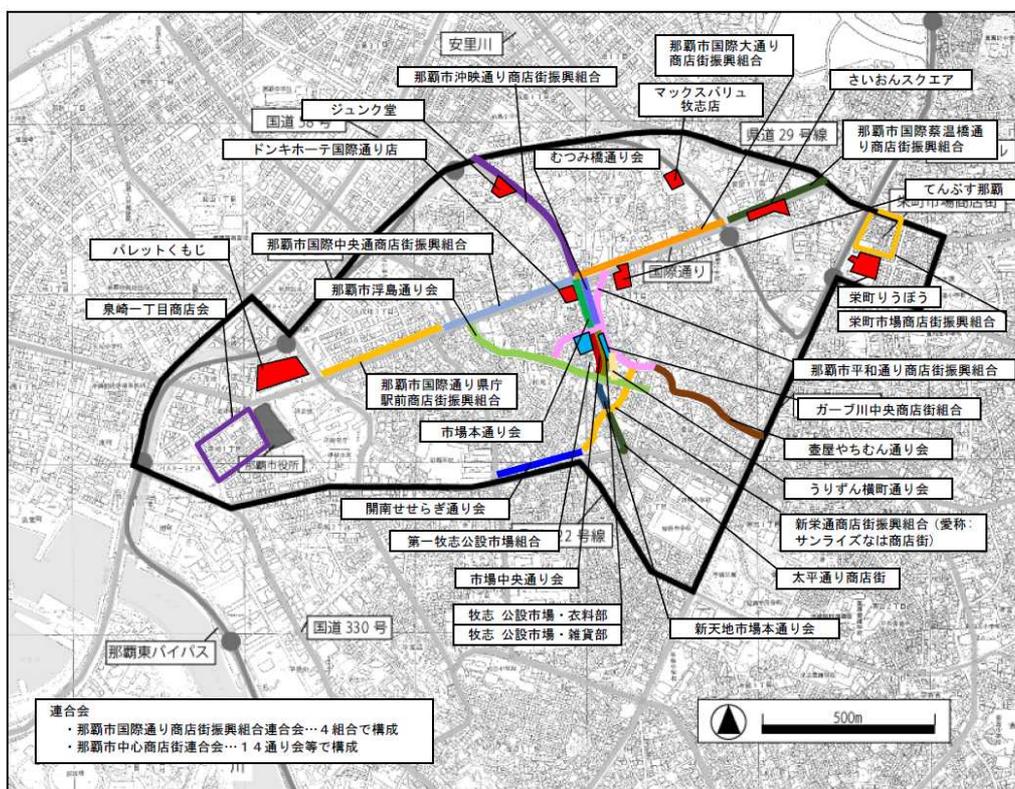
2.国際通りを取り巻く状況及び課題

2.1 国際通り及び周辺地域の現状

(1) 商環境

通り会・商店街の状況

- 本市の中心市街地には、22の通り会等と、2つの連合会がある。通り会等は、主に国際通り沿い、および沖映通り～ガープ川沿いに発達してきました。また、「パレットくもじ」などの大規模小売店舗は主に国際通りを中心に立地しています。
- 商店街については水上店舗やアーケード等の民間商業施設の老朽化や、大型店については「沖縄三越」が閉店するなどが課題となっています。



■水上店舗



■閉店した大型店
(沖縄三越が平成26年9月に閉店)



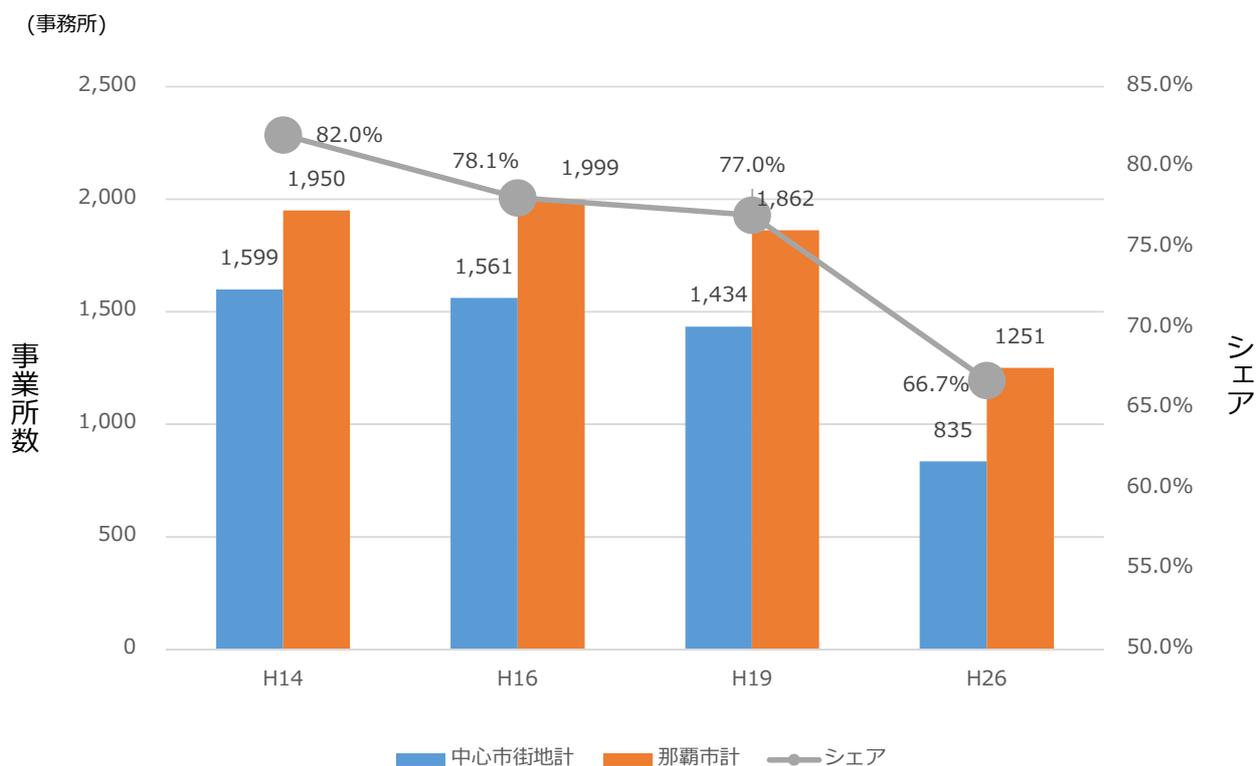
■商店街の老朽化したアーケード



出典：那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画（平成28年3月）

小売事業所数

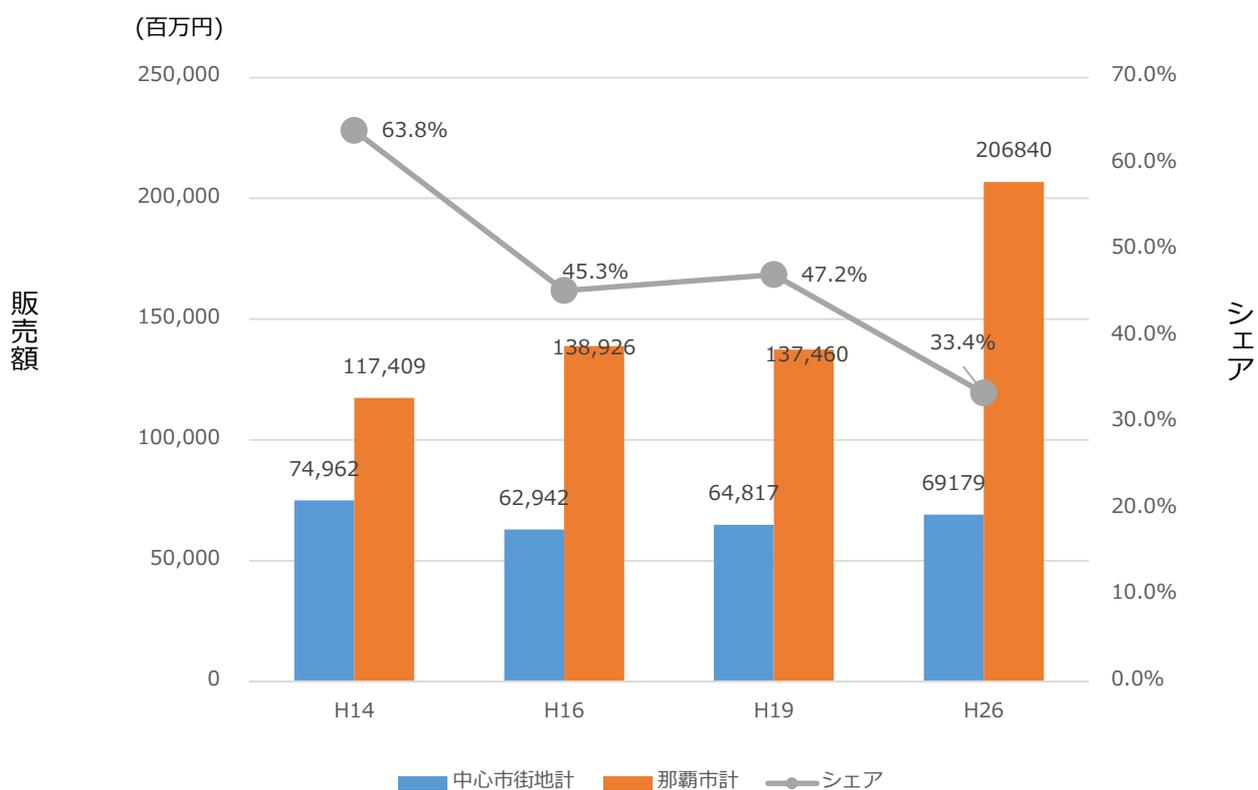
- 平成 26 年の市全体の小売業事業所数は 1,251 店で、平成 14 年の 1,950 店に対し 35.8%減少しています。
- 中心市街地の平成 26 年の小売業事業所数は 835 店で、平成 14 年の 1,599 店から 46.7%減少しています。
- 中心市街地が市全体に占めるシェアは、平成 14 年の 82.0%から、平成 26 年の 66.7%へと 15.3ポイントが低下しています。



出典：商業統計 立地環境特性別統計（平成 14～26 年）

小売販売額

- 平成 26 年の市全体の小売販売額は、206,840 百万円で、平成 14 年の 117,409 百万円に対し 76.2% 増加しています。
- 中心市街地の平成 26 年の小売販売額は 69,179 百万円で、平成 14 年の 74,962 百万円に対して 7.7%減少しています。
- 中心市街地が市全体に占めるシェアは、平成 14 年の 63.8%から、平成 26 年の 33.4%へと 30.4 ポイント低下しています。



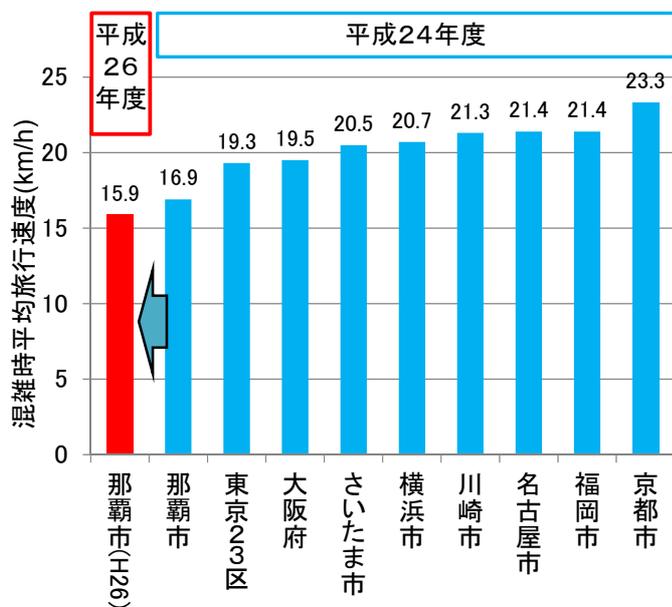
出典：商業統計 立地環境特性別統計（平成 14～26 年）

(2) 交通環境

那覇市の旅行速度及び機関別旅客輸送分担率

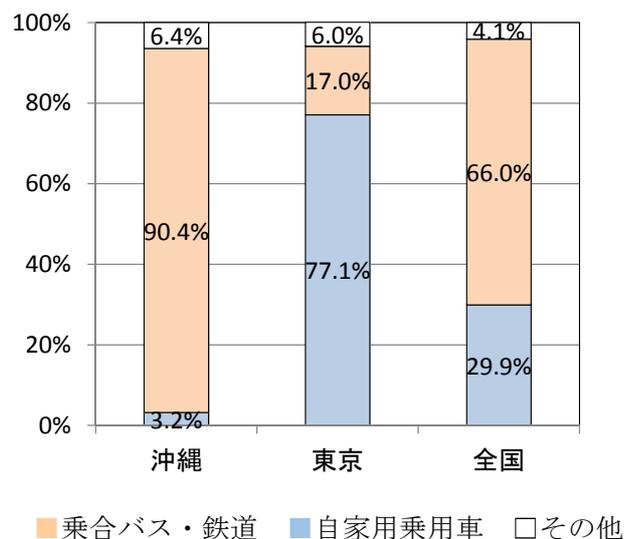
- 那覇市の混雑時の旅行速度は、県庁所在地では最低水準となっています。さらに、沖縄の公共交通の利用水準は、全国と比較してきわめて低い状況です。

◆平日混雑時旅行速度の比較



出典：H26一般車プローブデータ(那覇)、
H24一般車プローブデータ

◆機関別旅客輸送分担率

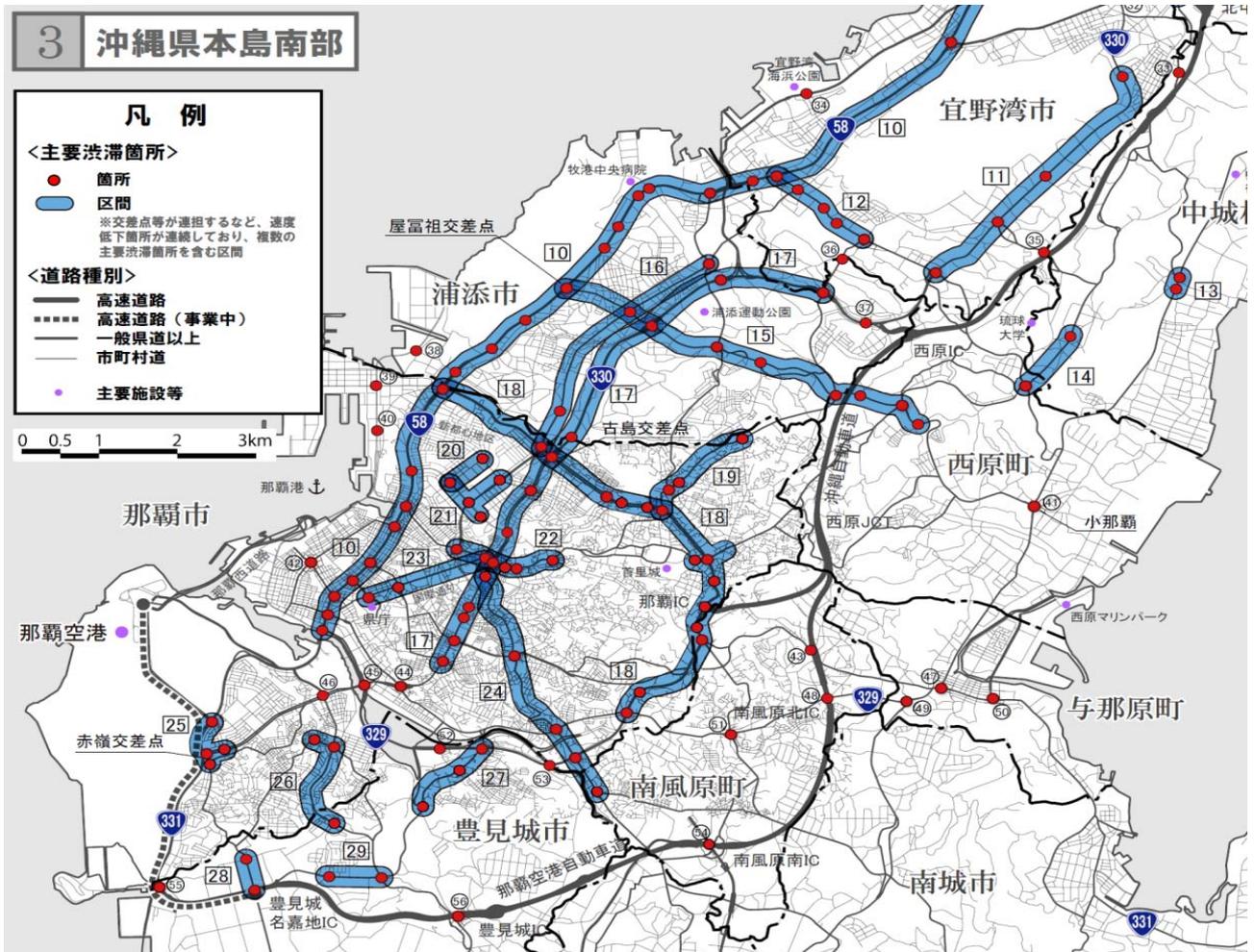


出典：旅客地域流動調査(H21年度)

出典：沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会資料（平成28年11月）

那覇都市圏の渋滞箇所

- 那覇都市圏の渋滞箇所は国道を中心に多くの路線が渋滞箇所として位置づけられています。
- 国際通りは主要渋滞交差点箇所及び区間に位置づけられています。

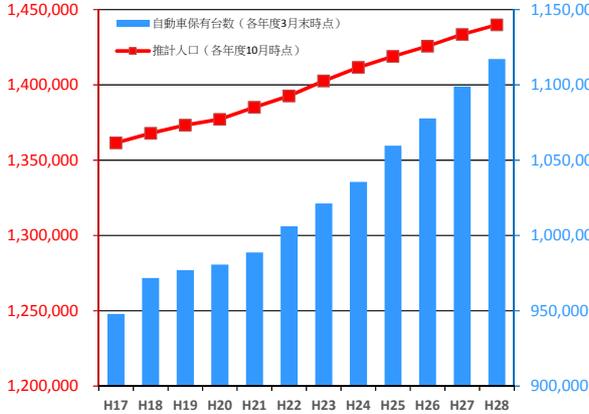


出典：沖縄地方渋滞対策推進協議会資料（平成 29 年 8 月）

沖縄県自動車保有台数などの推移

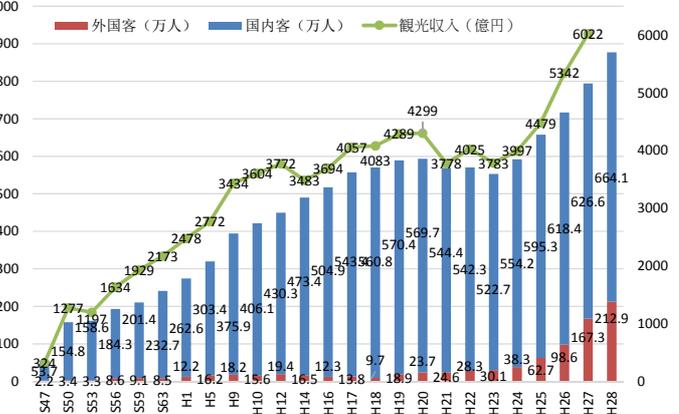
- 自動車の保有台数や観光客数も年々増加しています。

◆沖縄県の人口増加に伴い、自動車保有台数も増加



【沖縄県の推計人口と自動車保有台数の推移】
資料：沖縄統計年鑑、沖縄県推計人口データ

◆年度別観光客数・観光収入の推移



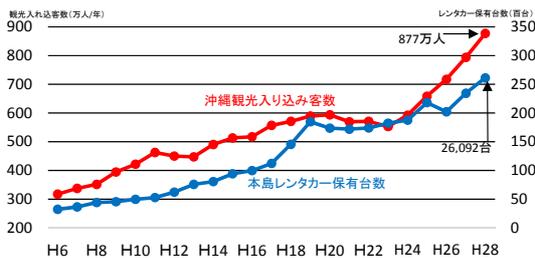
【観光客数・観光収入の推移】
資料：沖縄県入域観光客数統計概況、観光収入

出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料（平成 29 年 7 月）

観光客の移動手段

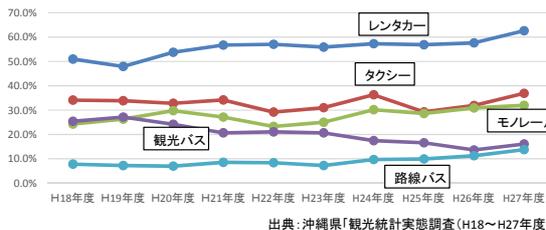
- 平成 28 年度に沖縄を訪れた観光客は約 877 万人（うち外国人約 213 万人）で過去最高を記録しました。
- 沖縄へのクルーズ船の寄港は平成 28 年は 387 回であり、平成 29 年は 502 回と過去最多の見込み。そのうち那覇港は 213 回、石垣港は 175 回、平良港は 104 回となり各港とも過去最多の寄港見込みとなっています。

◆観光客の移動手段はレンタカー（約6割）



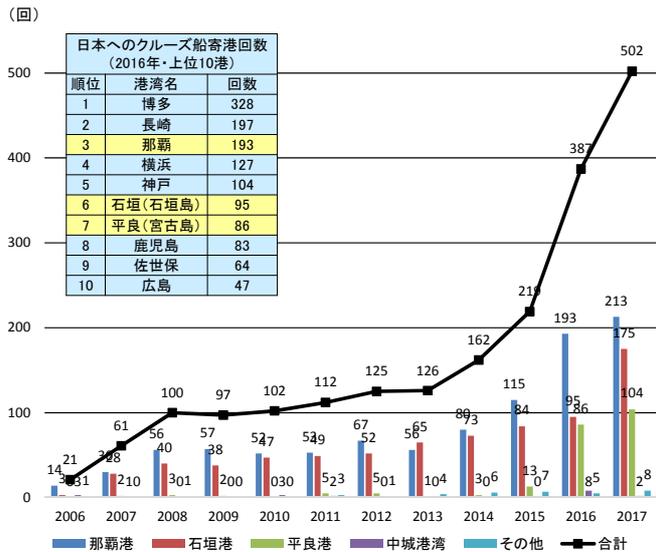
【県外観光入込客数とレンタカー保有台数の推移】
資料：運輸要覧、入域観光客統計概要

【沖縄県滞在中に利用した交通手段】



出典：沖縄県「観光統計実態調査(H18～H27年度)」

【沖縄へのクルーズ船の寄港回数の推移】

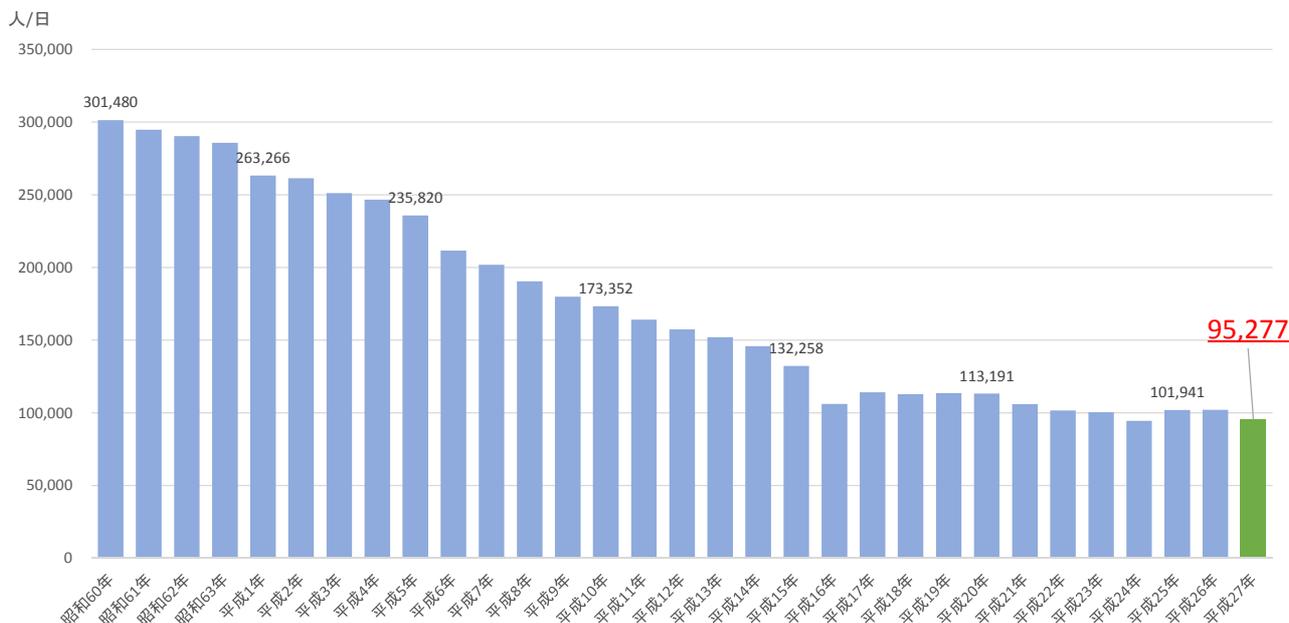


※2017年1月5日時点。天候などにより変更の可能性がある。
※港湾管理者(沖縄県、那覇港管理組合、石垣市、宮古島市)からのヒアリングに基づき沖縄総合事務局が作成

出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料（平成 29 年 7 月）

路線バス

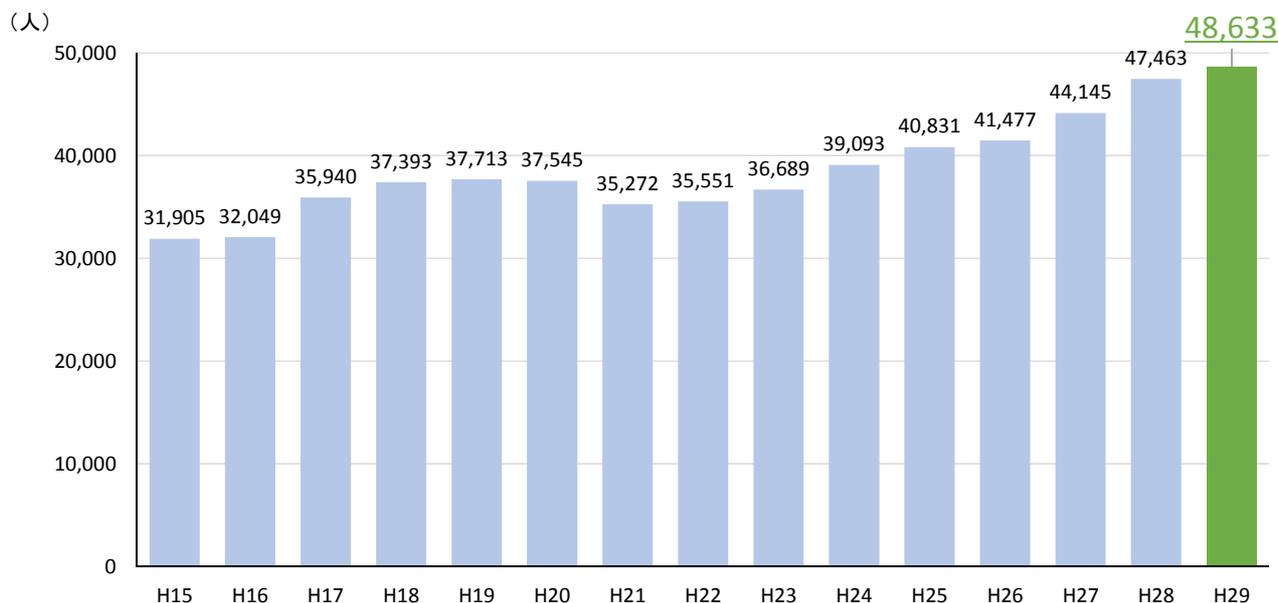
- バス輸送人員は、昭和60年から約1/3まで減少しています。



資料：沖縄総合事務局運輸要覧（S60～H28.12）

沖縄都市モノレール

- 沖縄都市モノレールは観光客の増加に伴い利用者も増加しています。
- 乗客数は平成29年4月末日時点で4.9万人となっています。



資料：沖縄県都市モノレール課 HP

駅別乗客数 年度比較表（1日当たり平均）H29.4月末日現在より合計値を抜粋

公共交通の環境

- 中心市街地には、那覇バスターミナルを拠点として、市内線、市外線を含め、多くのバス路線が集中しています。
- 中心市街地の周縁部には、「ゆいレール」が走行しており、国際通り及び周辺地域は、沖縄県内ではきわめて公共交通の利便性が高い地域となっています。

■ 那覇市内を運行する路線バス



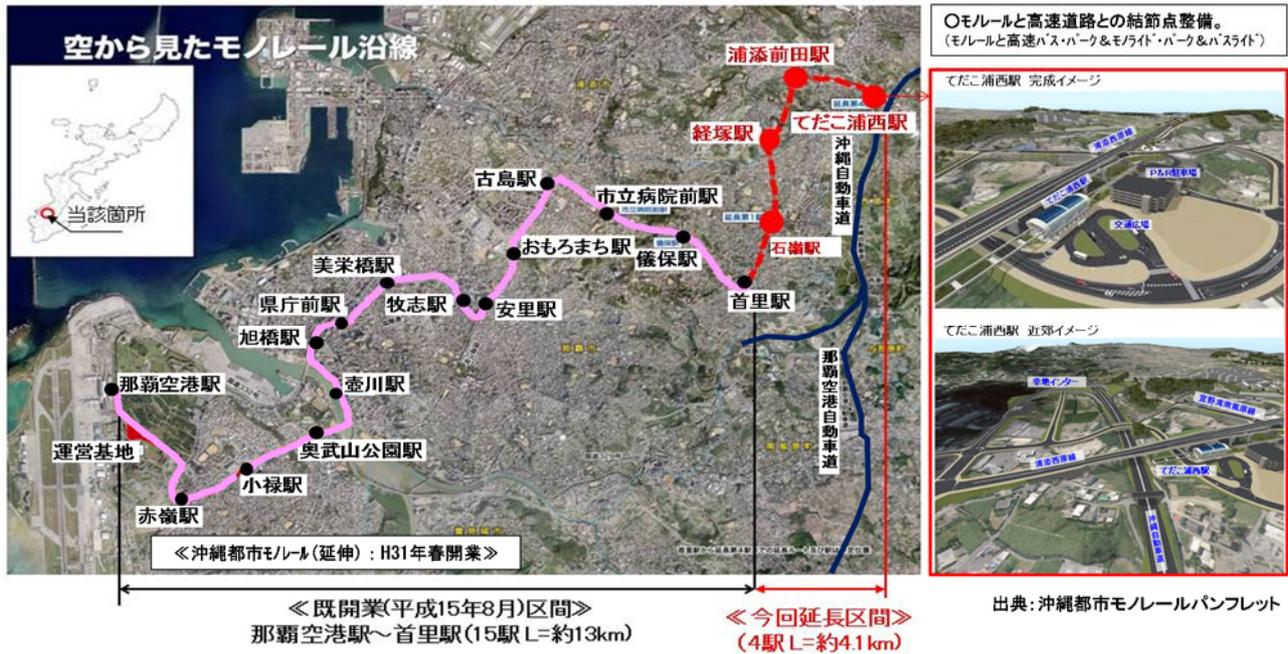
■ 那覇市外を運行する路線バス



出典：バスマップ沖縄 HP <http://www.kotsu-okinawa.org/>

沖縄都市モノレール

- 沖縄県における戦後初の軌道系交通機関として、沖縄都市モノレール（愛称：ゆいレール）が平成15年8月から運行しています。（那覇空港から首里区間の全15駅、12.9km、所要時間27分）
- 現在、首里駅から沖縄自動車道西原インター付近までの約4.1km、4駅の延長工事が行われています。（平成31年の開業目標）

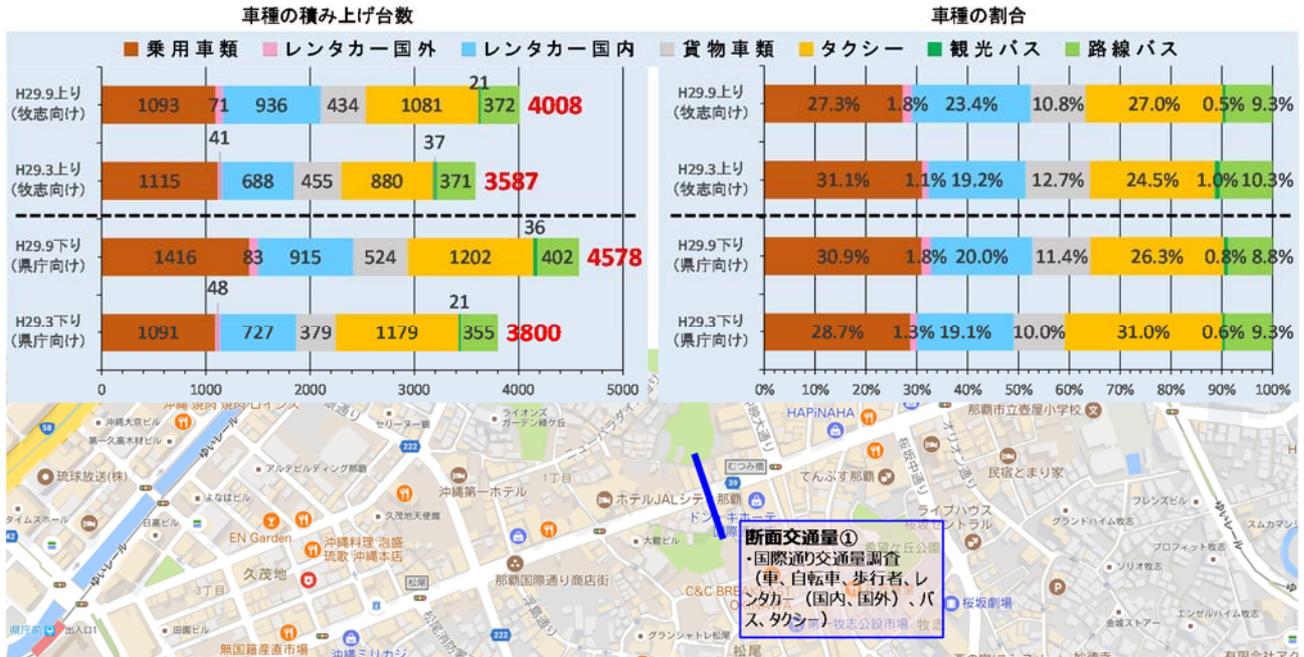


出典：沖縄次世代都市交通システム検討会資料（平成29年7月）

国際通り断面交通量

【H29.3、H29.9の結果比較】

- 国際通りを通過する断面交通量を比較したところ、9月の断面交通量は3月調査時点よりも増加しています。
- 夏の観光シーズンということもあり、レンタカーとタクシーの増加がみられます。



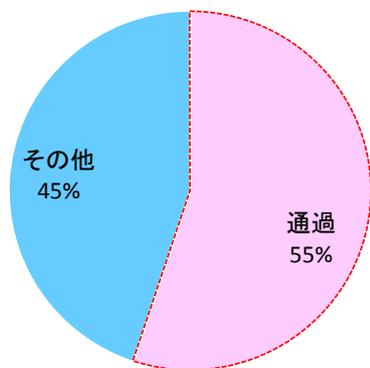
出典：国際通り調査の報告（速報版）（沖縄総合事務局作成資料 H29.11.7）

国際通りを通過する車両について

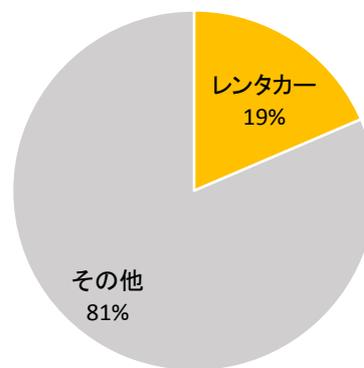
【H29.3、H29.9の結果比較】

- 調査で確認された全体の車両の内、約6割程度が通過交通となっており、その内、レンタカーの割合は2割程度を占めています。

国際通りを通過する
通過交通及びその他車両の割合 (%)



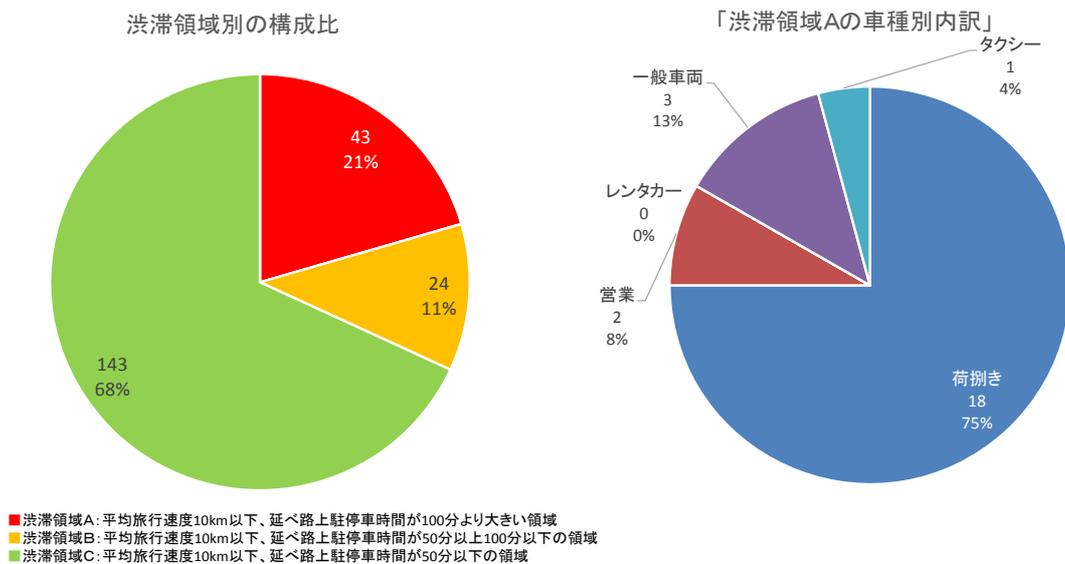
通過交通の内、
レンタカー及びその他車両の割合 (%)



出典：国際通り調査の報告（速報版）（沖縄総合事務局作成資料 H29.11.7）

国際通りの渋滞要因

- 国際通りの区間速度と路上駐車時間の関係を整理した結果、「路上駐車時間が長く、速度が10km/h以下」の区間が2割程度存在しています。これは、荷捌き車両や営業車両により、区間の速度が低下していることが考えられます。
- さらに、「路上駐車時間が長く、速度が10km/h以下」の内訳を車種別を見ると、7割以上が荷捌きによるものとなっています。



出典：国際通り調査の報告（速報版）（沖縄総合事務局作成資料 H29.11.7）

国際通りの荷捌き車両による渋滞状況

- 国際通りでは、荷捌き車両を要因とした渋滞が発生しています。下の写真は、荷捌きによる路上駐車により後方車両が通行できなくなり混雑している様子です。



出典：国際通り調査の報告（速報版）（沖縄総合事務局作成資料 H29.11.7）

(3) 住環境

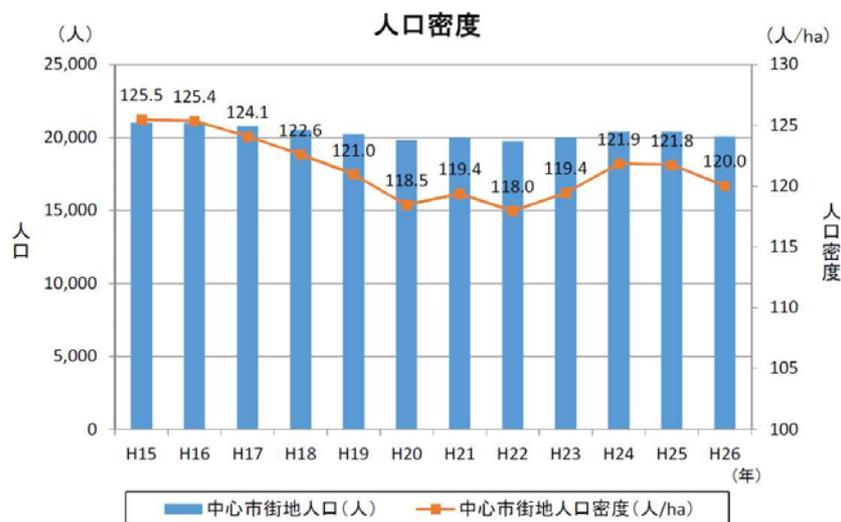
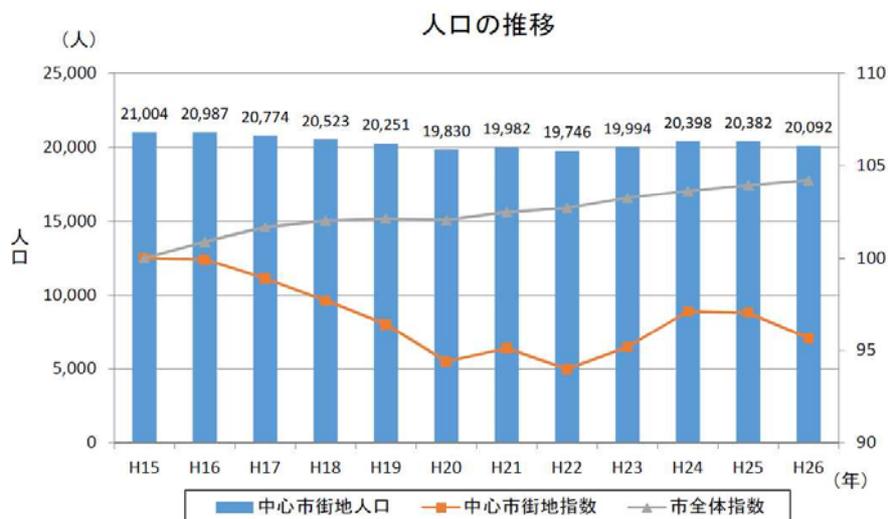
人口の推移

①人口

- 那覇市中心市街地の人口は、平成 15 年には 21,004 人であったが、平成 26 年は 20,092 人となっており、4.3%減少、那覇市全体の人口は増加傾向にあり、平成 15 年から平成 26 年にかけて 4.2%増加しています。

②人口密度

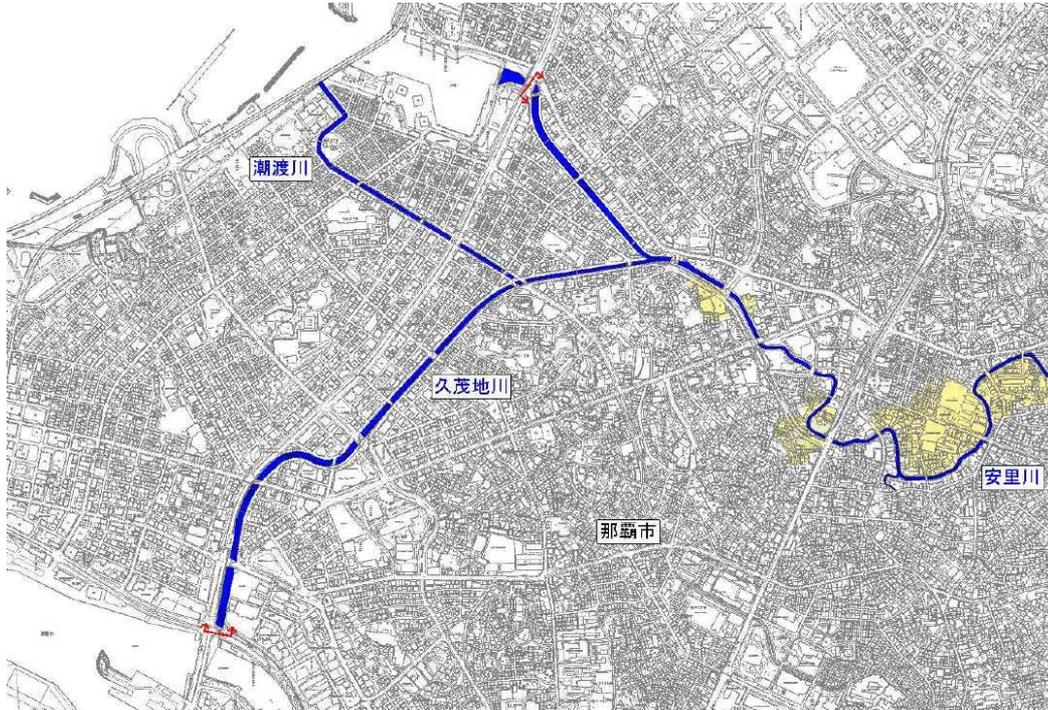
- 中心市街地の人口密度は、平成 15 年には 125.5 人/ha であったが、平成 26 年は 120.0 人/ha となっており、5.5 人/ha 低下。しかし、それでも 1 ヘクタールあたり 100 人を超えており、類似都市の中心市街地と比較すると本市の中心市街地は人口密度が高くなっています。



出典：那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画（平成 28 年 3 月）

防災に関する状況

- 大雨時における浸水常襲区域は、市全域には 14 区域あり、そのうち中心市街地に関連する区域は「崇元寺橋～ひめゆり橋一带」及び「我那覇鉄工所～旧ダイナハー一带」、「牧志 1 丁目 4 番 33 号～千歳橋一带」の 3 区域となっています。
- また、他の災害としては、中心市街地においては住宅・建物等が密集し、老朽化している建物も多いことや、災害発生時に消防自動車を通れない道路幅員の目安とされる 6m 未満の道路も多いことから、地震やそれに伴う火災による被害が懸念されています。



■浸水常襲区域

番号	区域	予想される被害戸数			備考
		床上	床下	合計	
1	崇元寺橋～ひめゆり橋一带	273	20	293	中心市街地内
2	我那覇鉄工所～旧ダイナハー一带	59	2	61	中心市街地内
3	牧志 1 丁目 4 番 33 号～千歳橋一带	85	14	99	中心市街地内
4	鏡原 1 番地 1～小禄三叉路一带	99	37	136	
5	銘苅(前の橋)～古島 29 番地一带	1	1	2	
6	松川 301～古島 29 番地一带	95	6	101	
7	練兵橋・大道橋・松川橋～ 松川 3 丁目 12 番 34 号一带	218	15	233	
8	ひめゆり橋～大道 160 番地一带	105	44	149	
9	国場 225～仲井真 264 番地 3 号一带	100	49	149	
10	首里平良町 1 丁目 30～ 首里石嶺町 4 丁目 103 番地一带	65	33	98	
11	壺屋 2 丁目 15 番 2 号～12 番 3 号一带	39	23	62	
12	与儀 2 丁目 8 番地一带	0	3	3	
13	古島 1 丁目 30 番地一带	6	6	12	
14	古波蔵 3 丁目 17 番地一带	0	250	250	

出典：那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画（平成 28 年 3 月）

沖縄県 HP 安里川浸水想定区域図（平成 24 年 11 月 6 日）

道路の状況

- 幹線道路の後背地には 4m未満の道路が多く、中心市街地の建物更新を妨げる一因となっています。(建築基準法では、建築物は、原則として幅員 4m 以上の道路に接しなければ建築できない)
- 渋滞を回避するための通り抜け交通も 4m 未満の道路へ流入することが考えられます。

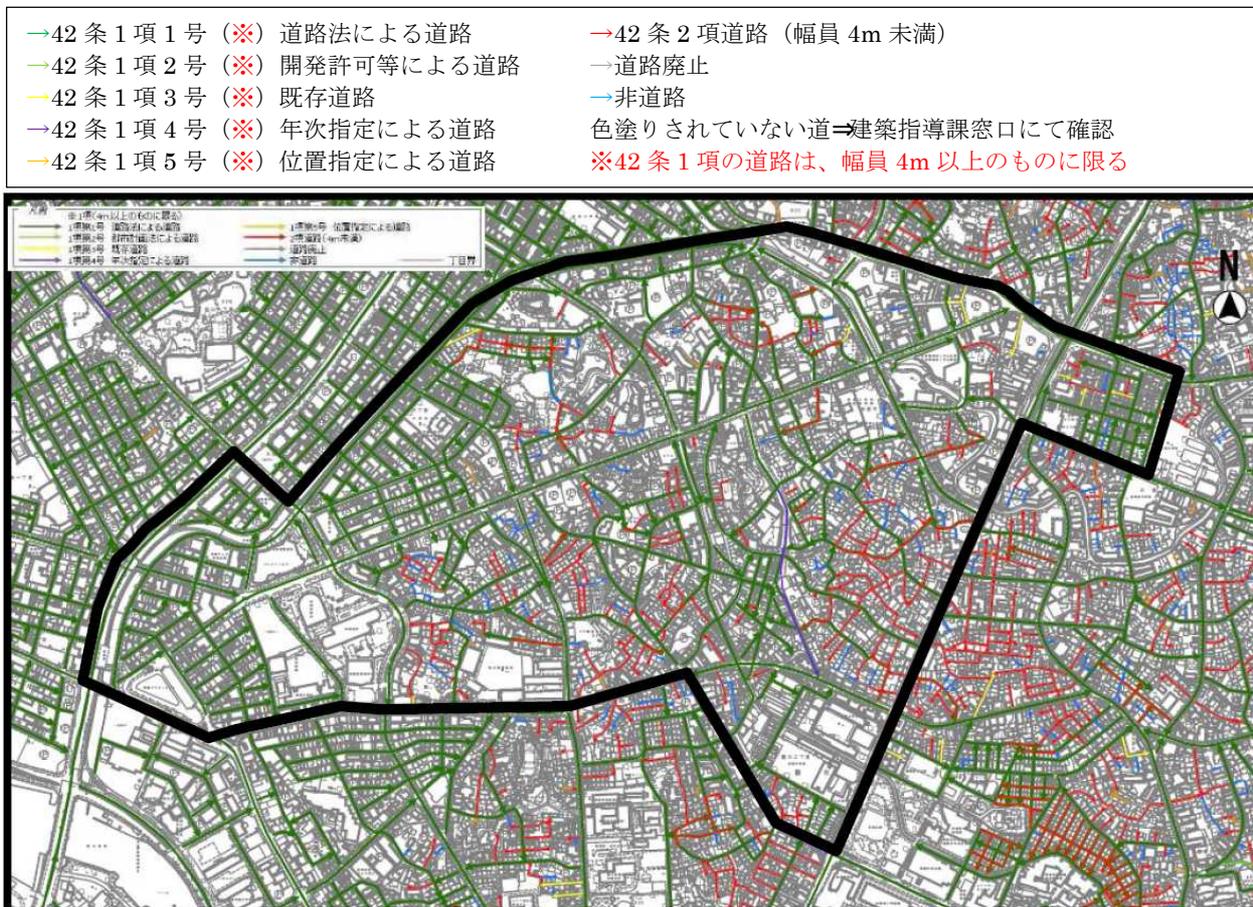


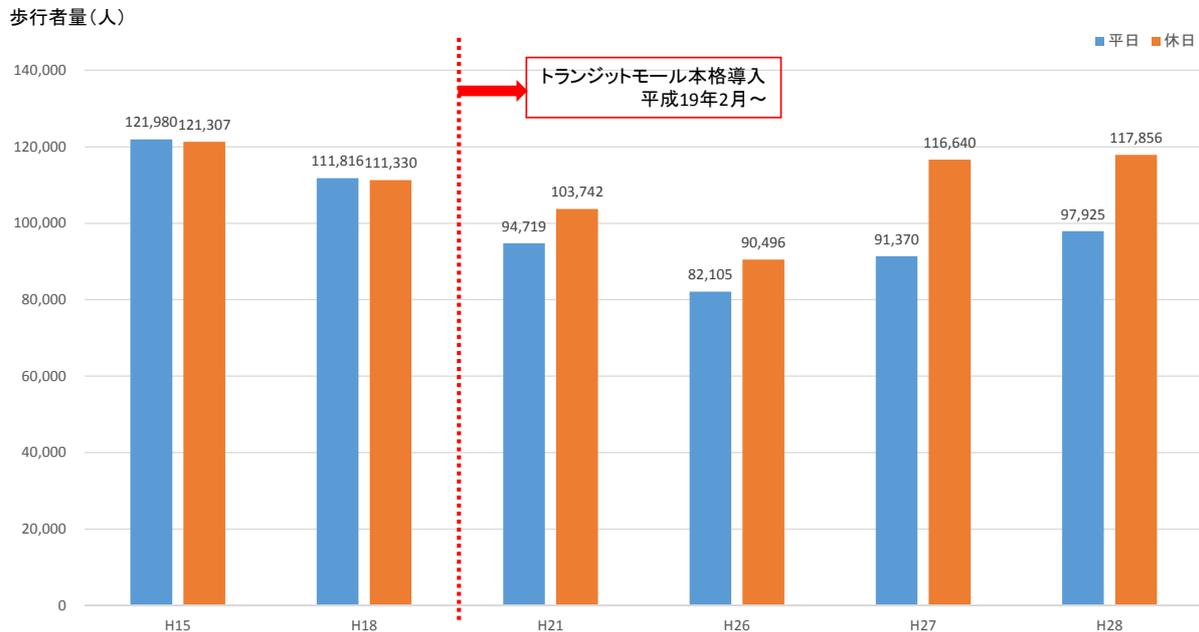
図 中心市街地における 4m 未満道路の分布状況

出典：那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画（平成 28 年 3 月）

那覇市道路種別マップ

2.2 中心商店街の来訪者数

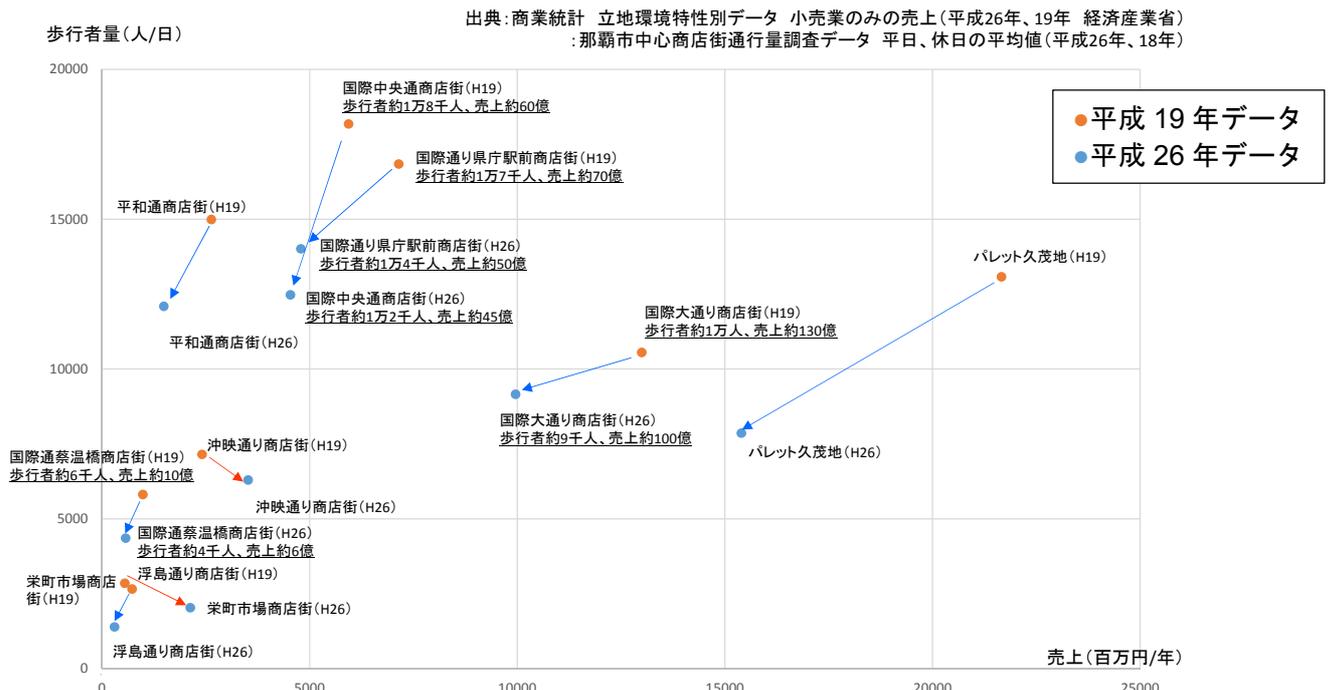
- 中心商店街の平日、休日の歩行者通行量では、休日の歩行者量が多くなっています。
- 平成 26 年まで歩行者通行量は減少していたものの、近年では観光客の増加に伴い歩行者も増加しています。



出典：那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画（平成 28 年 3 月、中心商店街 24 地点の通行量）

2.3 中心商店街の来訪者数と商店街売り上げ

- 国際通りの商店街売り上げと、歩行者量の分布をみると、概ね比例関係となっています。
- 多くの商店街では、平成 19 年度から平成 26 年度の歩行者減少に伴い売り上げも減少しています。



3.国際通りトランジットモールの実績と評価

3.1 トランジットモール事業実績

	年度	実施回数 補助対象2 月まで	集客	調査日	測定方法
	(平成)	4~3月	(人) 1日あたり		
本格実施	28	38	21,179	H28.12.11	市通行量調査より4箇所測定 県庁駅前(2箇所)と大通り (2箇所)測定
	27	40	21,902	H27.12.13	〃
	26	38	17,300		離島マルシェイベント時の調査、てんぶす前など。
	25	40	18,000		
	24	37	20,000		
	23	35	20,000		
	22	38	21,000		
	21	43	17,000		
	20		18,000		
	19		20,000		
社会実験	18	3	2.1万~ 3.3万	H19.2.11、2.18、2.25	6箇所測定(旧ベスト電器前、琉銀松尾支店前、てんぶす館前、蔡温橋2箇所区間外)
	16	1	26,146	H17.2.11	
	15	3	1.8万~ 3.4万	H15.11.21(金)、 11.22(土)、11.23	
	14	4	2.4万~ 3.3万	H14.8.31(土)、9.1、 9.7(土)、9.8	
	13	1	30,252	H14.1.27	

※雨天や台風や別イベント(NAHAマラソン等)の際は開催無し。

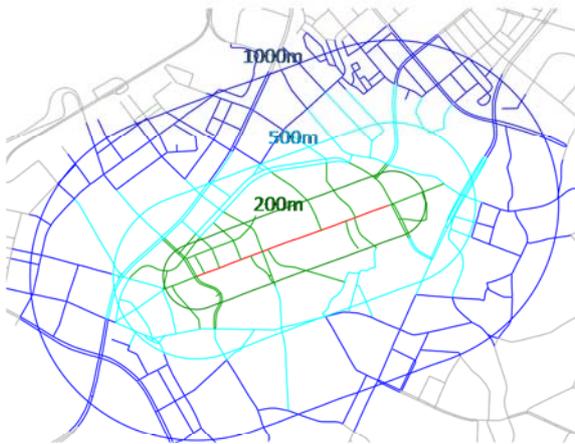
※参加者数・団体数においては、1開催辺り、3~6団体が参加。3ヶ所のポイントで、大道芸パフォーマンスやエイサー演武などを行っている。

3.2 トランジットモール実施時の周辺道路の交通状況

(沖縄総合事務局提供資料)

- 沖縄総合事務局において、トランジットモール実施時、通常の土曜日、日曜日での速度、渋滞量比較を実施。トランジットモール実施時と、通常の日曜日では差がみられないことから、トランジットモールは渋滞に影響を与えていないことが想定されます。

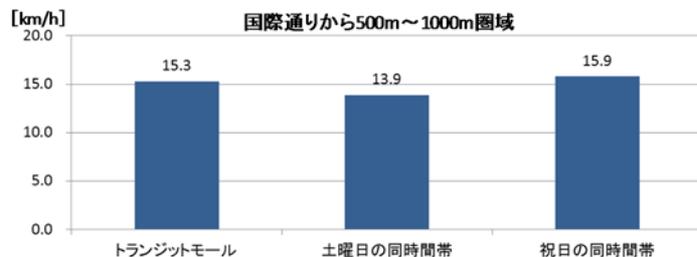
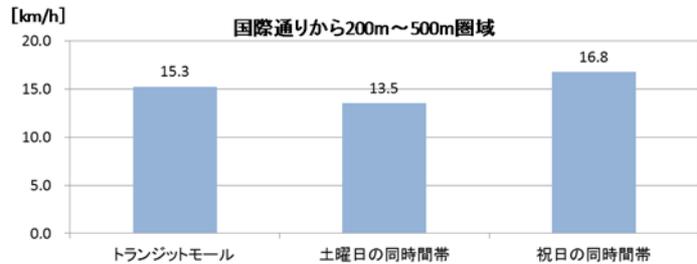
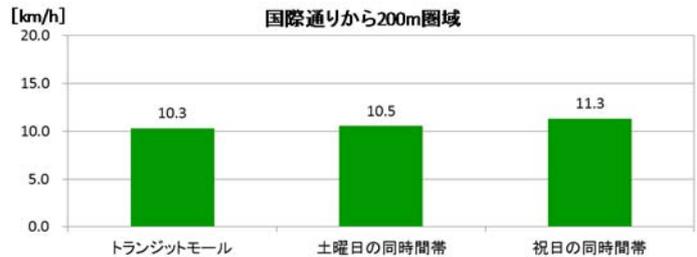
①平均旅行速度



曜日・時間帯の設定

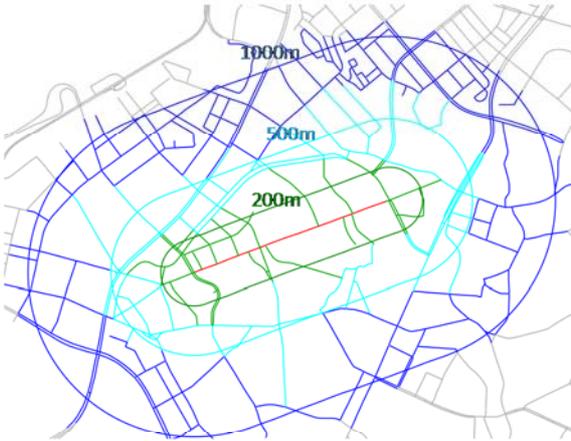
トランジットモール: 日曜日 12時～18時
土曜日の同時時間帯: 土曜日 12時～18時
祝日の同時時間帯: 祝日: 12時～18時

対象期間: 2016年9月～11月



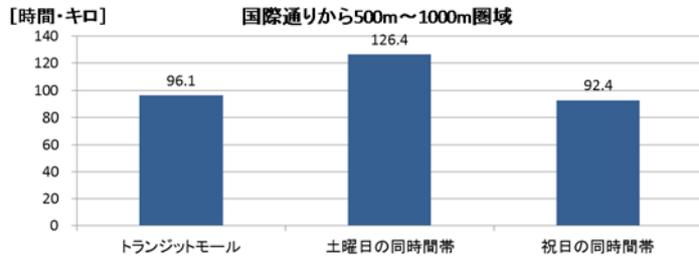
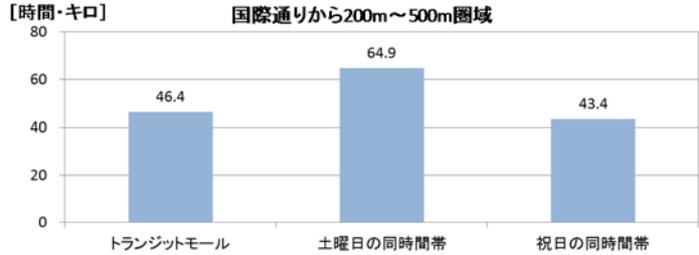
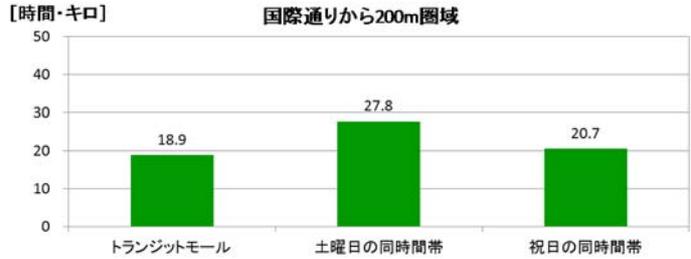
② 渋滞長[時間・キロ]※

※ 時間帯別旅行速度が10km/h未満を渋滞と定義し、渋滞長を積み上げ



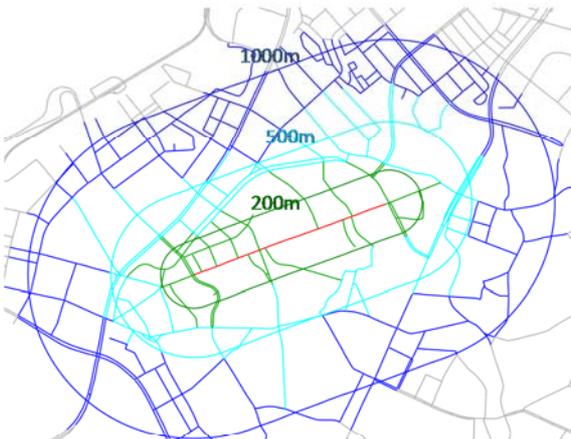
曜日・時間帯の設定
 トランジットモール: 日曜日 12時～18時
 土曜日の同時間帯: 土曜日 12時～18時
 祝日の同時間帯: 祝日: 12時～18時

対象期間: 2016年9月～11月



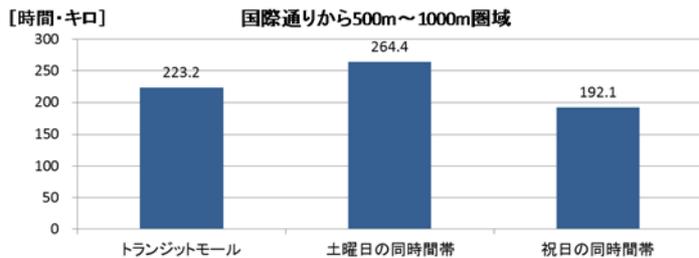
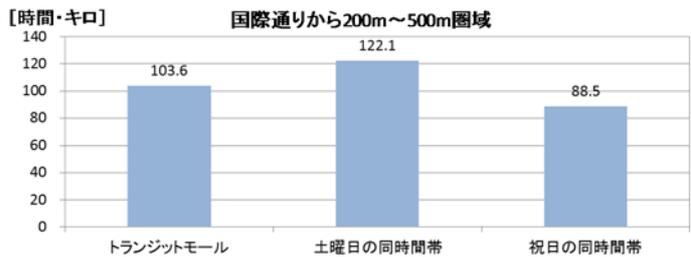
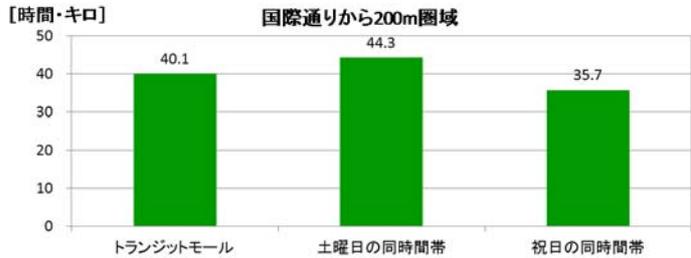
③ 渋滞長[時間・キロ]※

※ 時間帯別旅行速度が15km/h未満を渋滞と定義し、渋滞長を積み上げ



曜日・時間帯の設定
 トランジットモール: 日曜日 12時～18時
 土曜日の同時間帯: 土曜日 12時～18時
 祝日の同時間帯: 祝日: 12時～18時

対象期間: 2016年9月～11月



3.3 国際通り各商店街振興組合からの意見

- 現状のトランジットモールに対する課題や今後について、国際通りの下記の組合組織からヒアリングを実施。
 - 那覇市国際通り県庁駅前商店街振興組合
 - 那覇市国際中央通商店街振興組合
 - 那覇市国際大通り商店街振興組合
 - 那覇市国際蔡温橋通り商店街振興組合

【国際通りトランジットモールに対する課題は何か】

- ① 路上物販ができない
- ② 暑さ対策
- ③ 地元客離れ、活気がない
- ④ イベントのマンネリ化
- ⑤ 通行止めによる交通アクセスの不便さ、交通渋滞
- ⑥ エイサーやライブの実施場所の選定 ※音量等の苦情あり
- ⑦ イベント情報の告知不足
- ⑧ 現在の状況にあった実施目的や主旨を明確にする
- ⑨ 駐車場不足
- ⑩ トイレや休憩所不足

【国際通りトランジットモールを今後どのようにしていきたいのか】

(開催時間について)

- ① 日中の暑い時間をさける ※夕方への開催提案あり
- ② 季節ごとに開催時間を変更

(開催頻度について)

- ① 月2回程度
- ② 月1回程度
- ③ 毎週 ※月1回はイベント強化

(開催区間について)

- ① 現状のまま
- ② 蔡温橋を含めた国際通り全域

(その他)

- ① トランジットモール→歩行者天国へ
- ② トランジットモールの活用存続には、規制緩和が前提条件 ※フリーマーケット等の物販・販売
- ③ 一方通行にして半分を祭事や催事会場に

【国際通りトランジットモールを活用して取り組みたいことは何か】

- ① 道路上での物販や夜市の開催
- ② 収益に繋がるイベント作り
- ③ 参加型やキッチンカーを入れた飲食を伴うイベント、子供たちを交えたスポーツイベントやパレード等
- ④ 広場と連動したイベント強化
- ⑤ イベント情報を広域に告知できる体制
- ⑥ 組合員自身が出店でき、可能性をチャレンジできる場に
- ⑦ 市や那覇青年会議所等との連携強化
- ⑧ 専門委員会を結成して活性化を図る

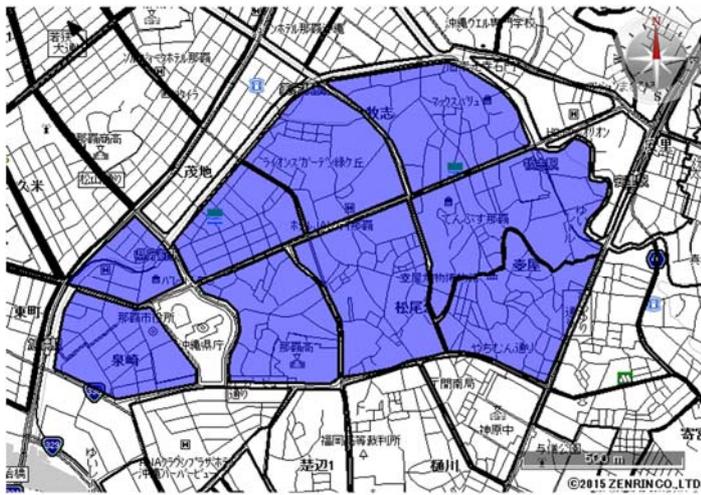
【商店街のビジョン】

- ① （国際中央通商店街）新旧含め、バラエティに富んだ魅力溢れる商店街。県内全域からアクセスしやすい商店街
- ② （国際大通り商店街）人にやさしい・楽しい街づくり
- ③ （国際通り県庁駅前商店街）地元回帰を視点において現在作成準備中

3.4 市民、国際通りや周辺事業者へのアンケート調査結果

概要

- 国際通りトランジットモールに対する意見収集を目的に、市民、事業者を対象に簡易アンケート調査を実施
- 市民については、100票を目標にアンケートを実施。国際通りから徒歩500m圏域を目途に下記の図に示すエリアに1000部配布。また、市民協働大使700名を対象に配布
- 事業者については、300票を目標にアンケートを実施。国際通り50店舗、周辺100店舗に対し、通り会会長を通して依頼



【市民及び市民協働大使】

配布地域(市民)

- ・壺屋1丁目
- ・松尾1丁目、2丁目
- ・牧志1丁目、2丁目、3丁目
- ・泉崎1丁目

配布地域(市民協働大使)

- ・那覇市全域

回収数:181枚

(市民、協働大使とも、配布の約1割回収)

【事業者】

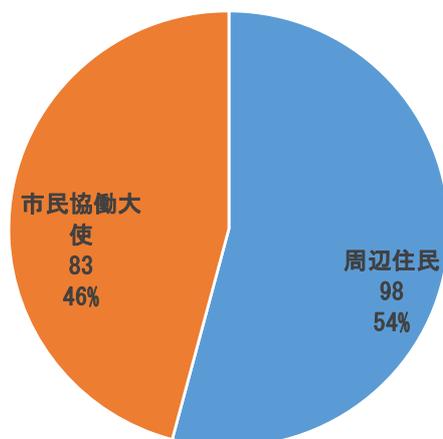
配布地域

- ・国際通り及び周辺の商店街

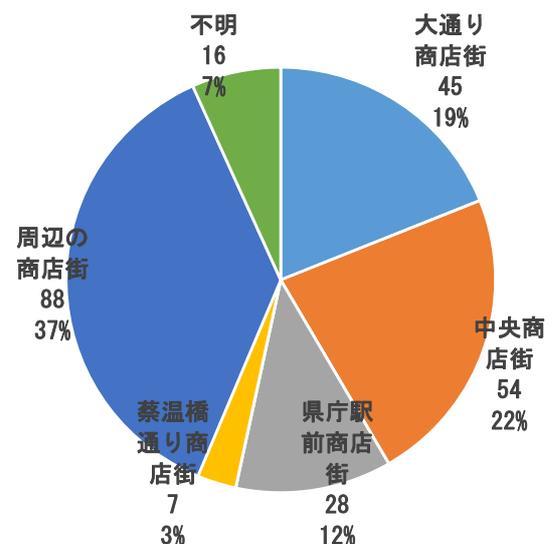
回収数:263枚(配布の約5割回収)

※11月時点

市民の回収内訳 (181票)

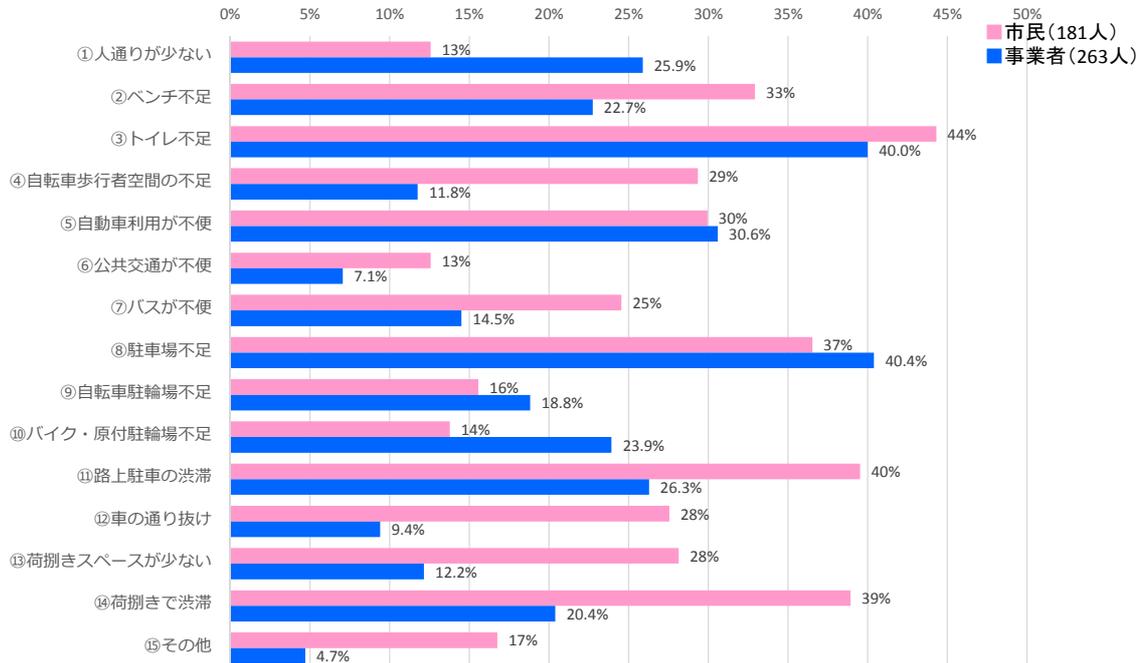


事業者の回収内訳 (263票)



平日の国際通り及び周辺地域の課題

- 意見がおおむね一致しているのは「トイレ不足」、「自動車利用が不便」、「駐車場不足」となっています。

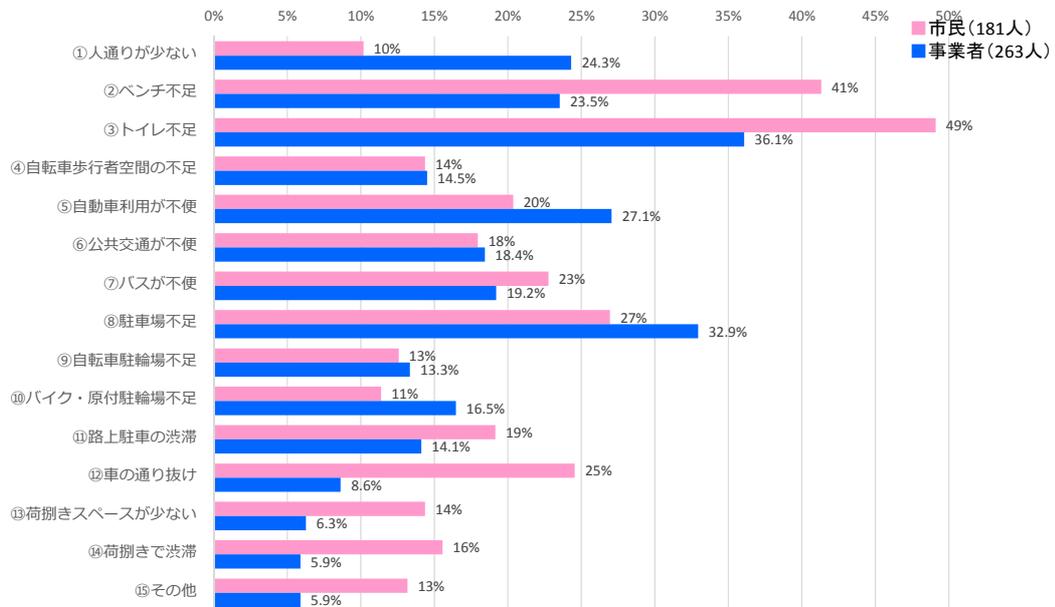


《質問事項》

問：平日の国際通り及び周辺地域の課題について以下から選び、はがきの回答欄に○を付けてください。(いくつでも)

トランジットモール時の国際通り及び周辺地域の課題

- 意見がおおむね一致しているのは「自転車歩行者空間の不足」、「公共交通が不便」、「自転車駐輪場不足」となっています。

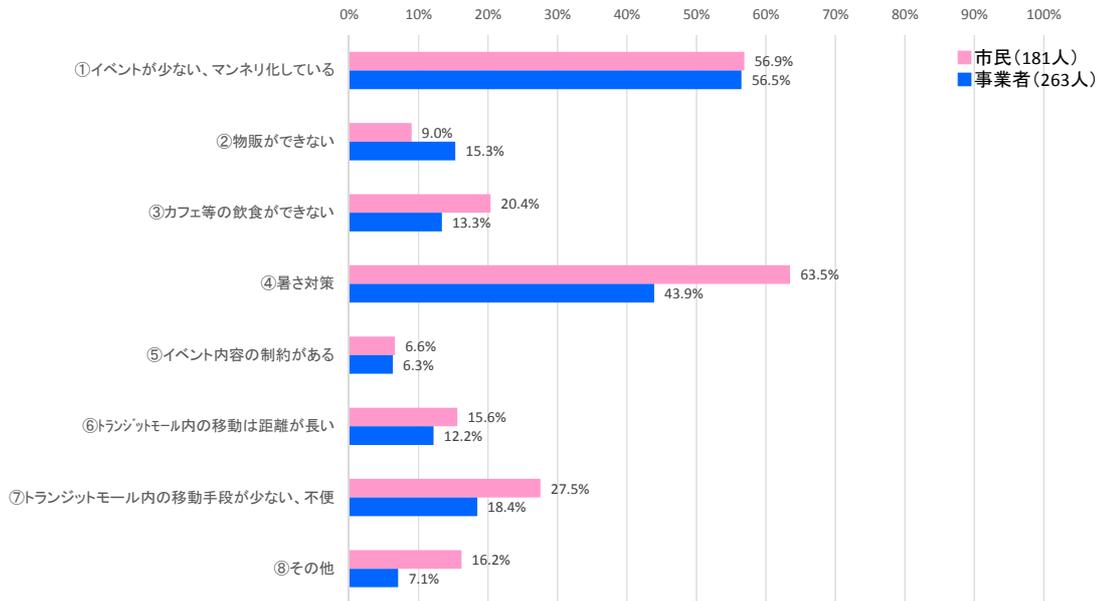


《質問事項》

問：トランジットモール時の国際通り及び周辺地域の課題について以下から選び、はがきの回答欄に○を付けてください。(いくつでも)

トランジットモールに対して市民・事業者が感じる課題

- 市民、事業者ともおおむね一致しており、特に、「イベントが少ない」、「暑さ対策」等の項目が多くなっています。

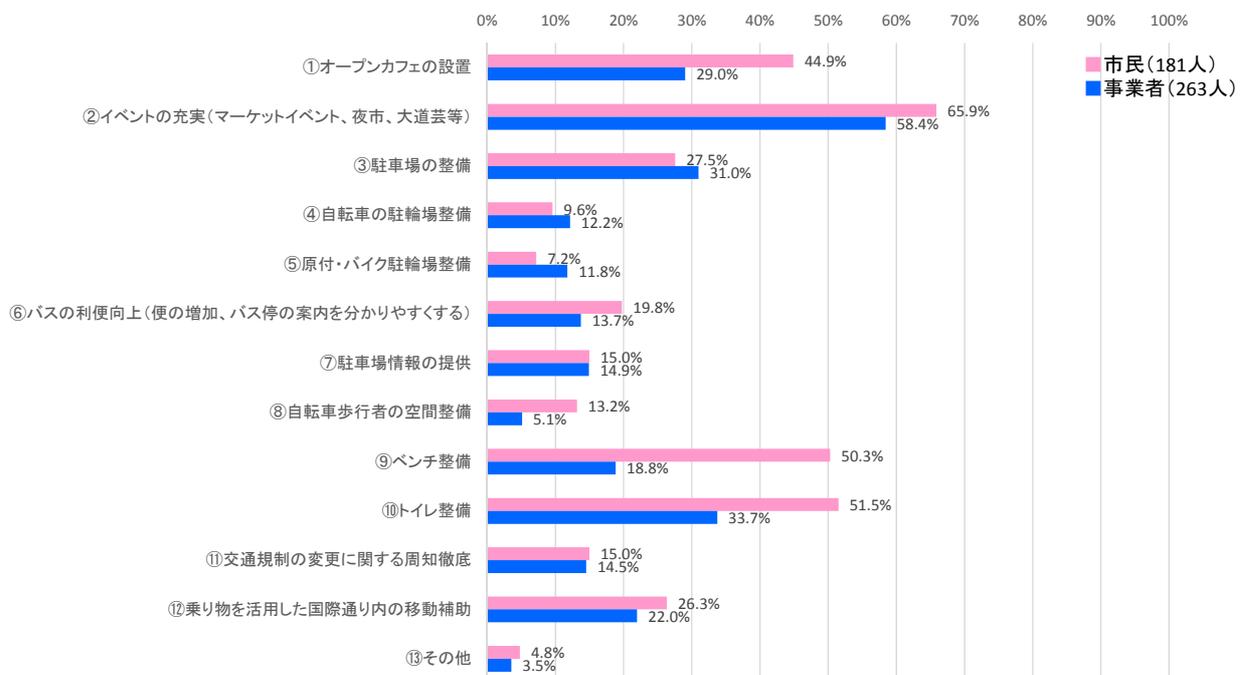


《質問事項》

問:トランジットモールの課題について以下から選び、はがきの回答欄に○を付けてください。(いくつでも)

トランジットモールを良くするための取組

- トランジットモールの改善について、特に、「イベントの充実」が多くなっています。
- 一方で、「ベンチ整備」、「トイレ整備」については市民の50%が要望されています。

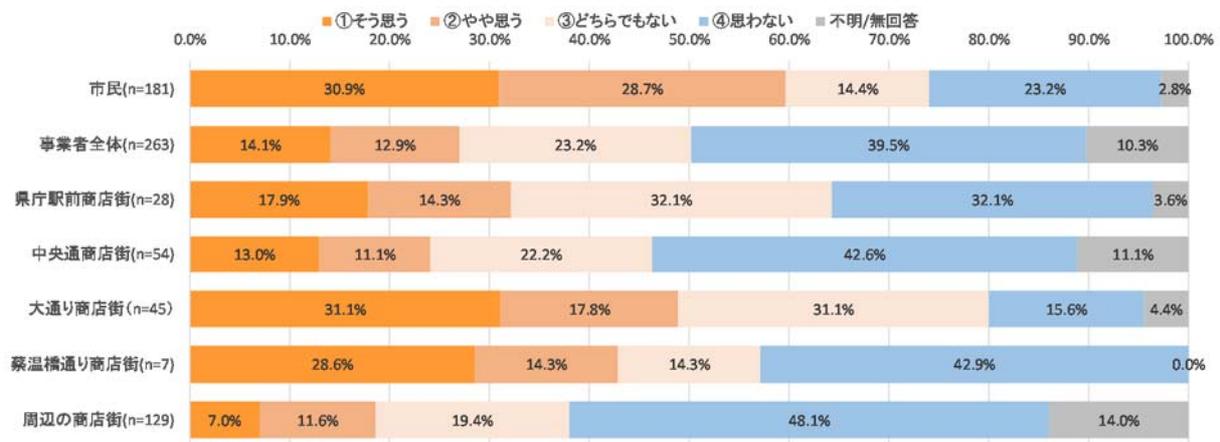


《質問事項》

問:トランジットモールを良くするための取組について以下から選び、はがきの回答欄に○を付けてください。(3つまで)

トランジットモールと店舗の集客の関係（通り会別）

- 国際大通り商店街では「そう思う」、「やや思う」が50%程度、それ以外の商店街では、30%以上が「思わない」と回答。

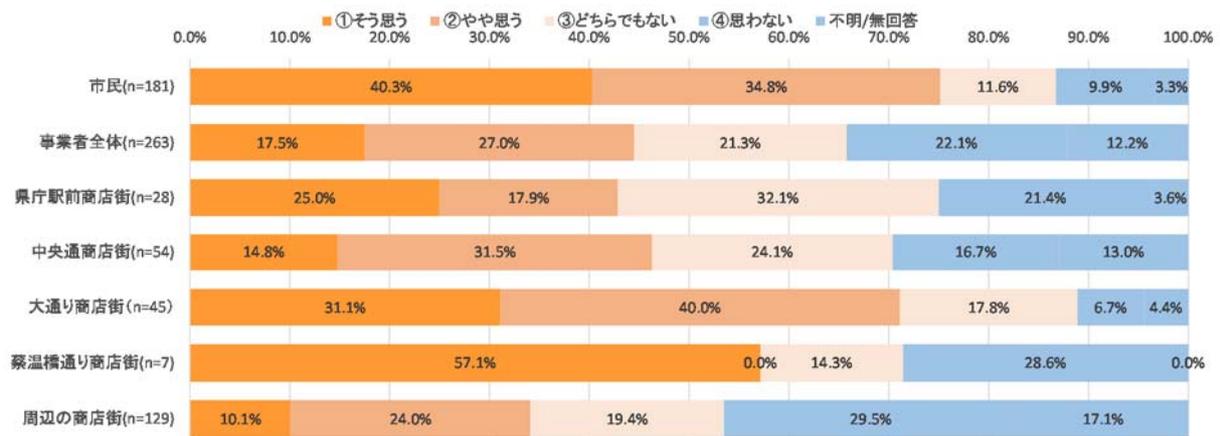


《質問事項》

問: 店舗の集客につながるといいますか。

トランジットモールと賑わいの関係（通り会別）

- 国際大通り商店街では「そう思う」、「やや思う」が70%程度、それ以外の国際通り商店街では、50%程度となっており、周辺の商店街では30%程度。

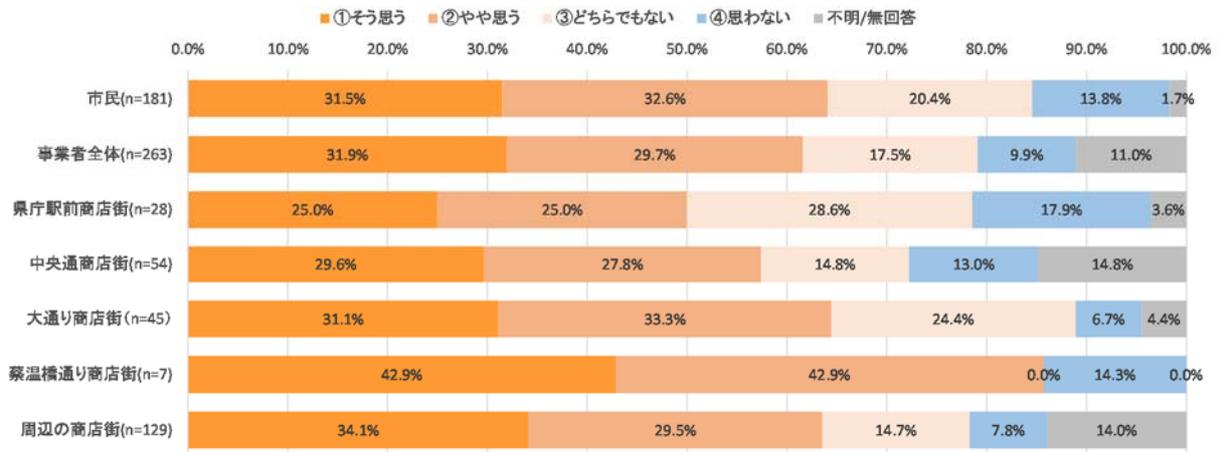


《質問事項》

問: 通りに賑わいが出来て良いと思いますか。

トランジットモールと国際通り周辺の渋滞との関係（通り会別）

- 渋滞への影響については、すべての商店街で、「そう思う」、「やや思う」が50%。

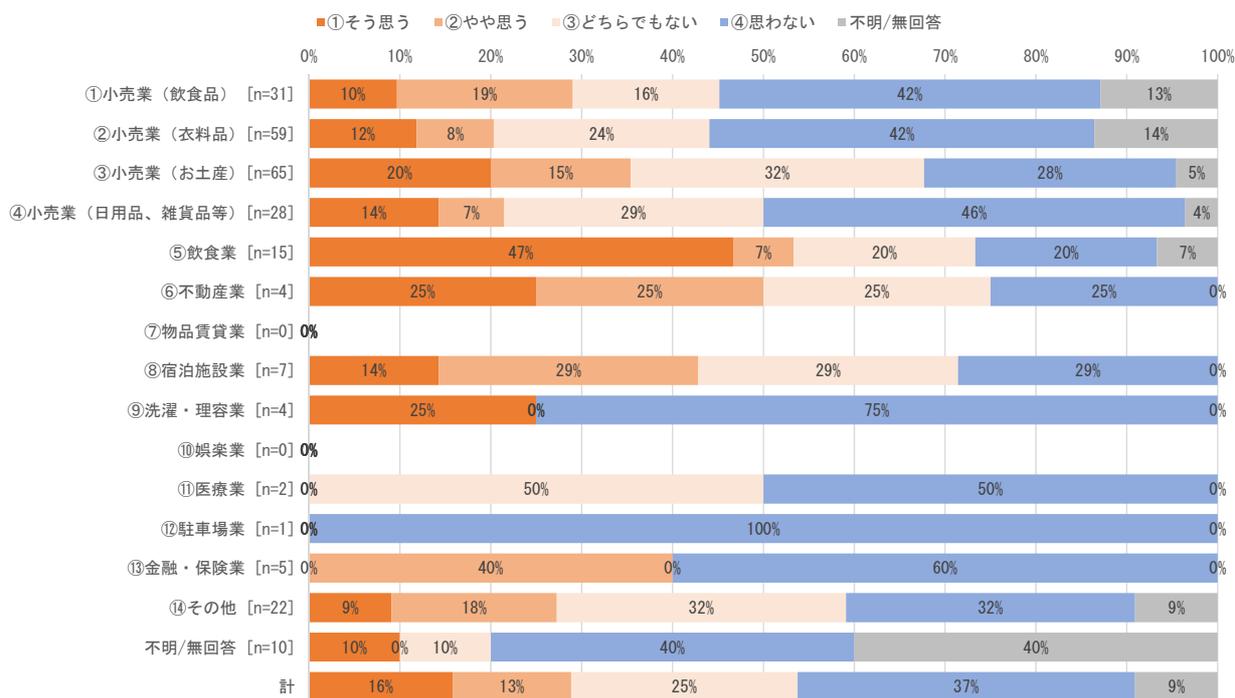


《質問事項》

問：国際通り周辺に渋滞の影響がありますか。

トランジットモールと店舗の集客の関係（業種別）

- 業種別にみると、「⑤飲食業」、「⑥不動産業」、「⑧宿泊施設業」で50%が肯定的な回答。

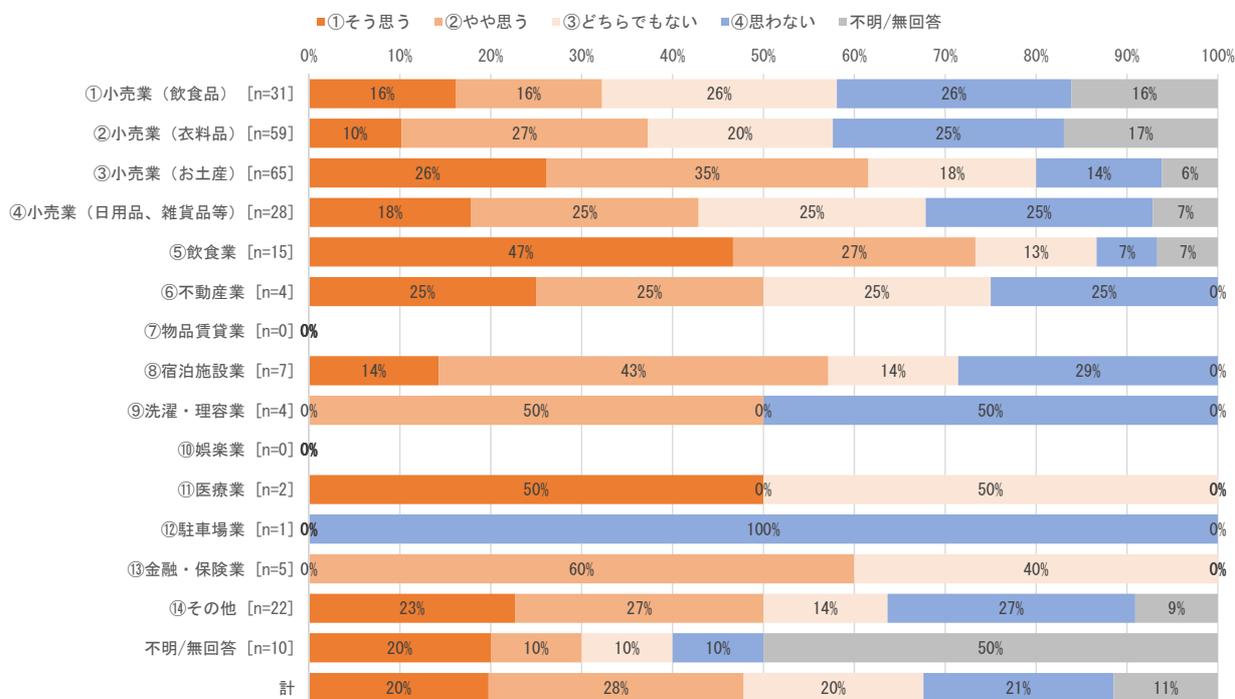


《質問事項》

問：店舗の集客につながると感じますか。

トランジットモールと賑わいの関係（業種別）

- 業種別にみると、「⑫駐車場業」を除く業種において、30～60%が肯定的な回答。

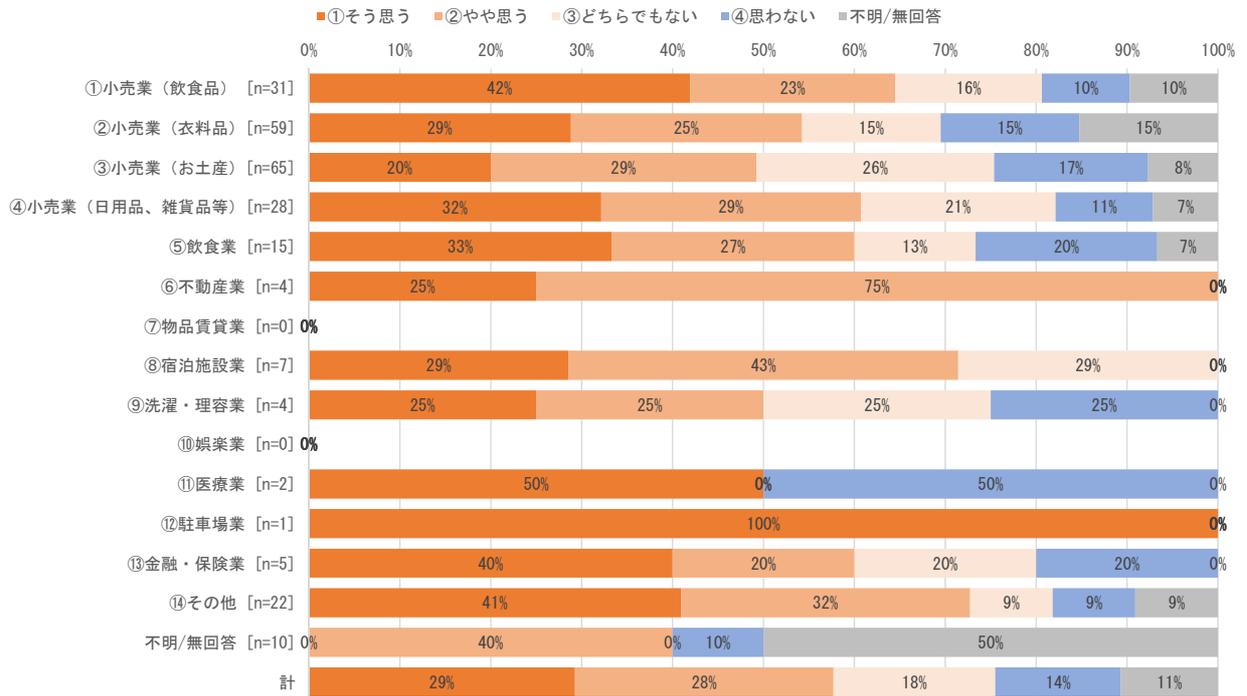


《質問事項》

問：通りに賑わいが出来て良いと感じますか。

トランジットモールと国際通り周辺の渋滞との関係（業種別）

- 業種別にみると、すべての業種において、50%以上が渋滞に影響を与えていると回答。

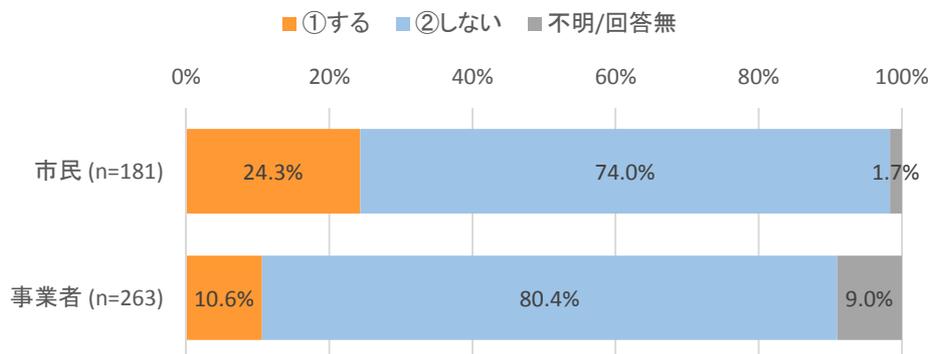


《質問事項》

問：国際通り周辺に渋滞の影響があると思いますか。

トランジットモールの拡大について（市民・事業者）

- 市民、事業者ともトランジットモール実施日の拡大を「しない」と回答した人が70%。

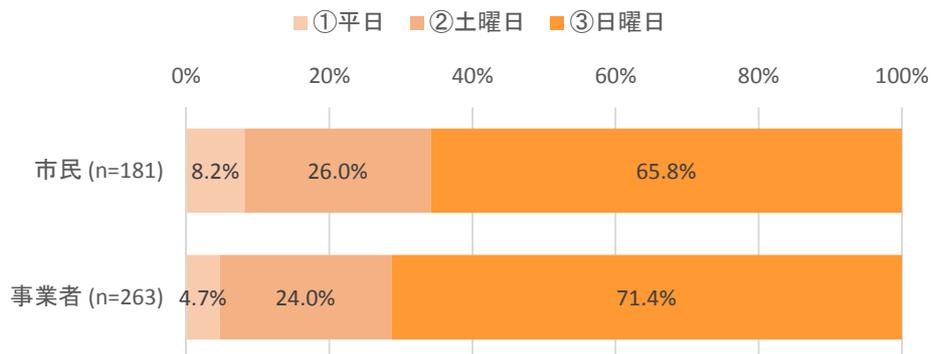


《質問事項》

問：日曜日以外の拡大を希望しますか。(1つだけ)

トランジットモールの実施曜日について（市民・事業者）

- 市民、事業者ともトランジットモール実施日を「日曜日」と回答した人が70%。

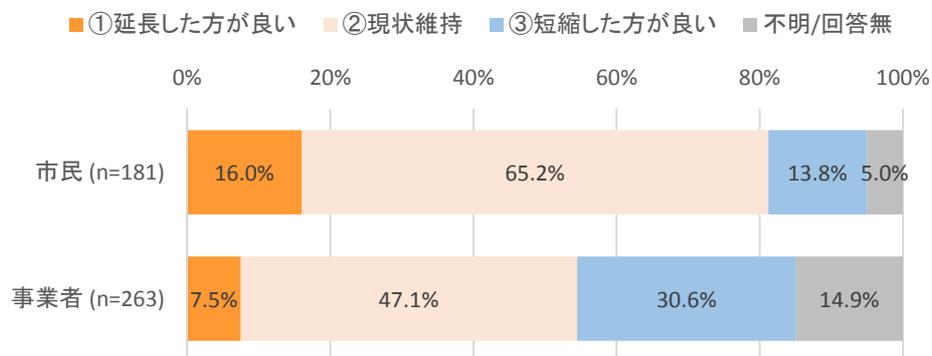


《質問事項》

問：実施する曜日はいつが良いと思いますか。(いくつでも)

トランジットモールの実施時間帯について（市民・事業者）

- 市民、事業者ともに、トランジットモールの現在の実施時間について「現状維持」と回答した人が50%。

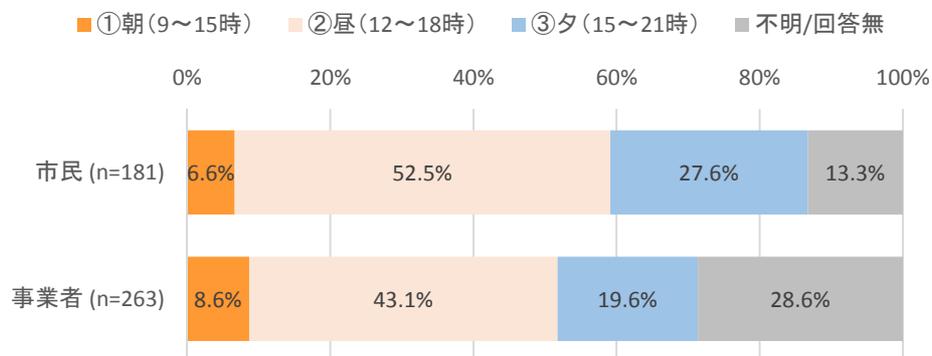


《質問事項》

問:現在の時間帯についてどう思いますか。(1つだけ)

トランジットモールの希望時間帯について（市民・事業者）

- 市民ではトランジットモール実施時間帯を「昼（12～18時）」と回答した人が50%、事業者では40%。

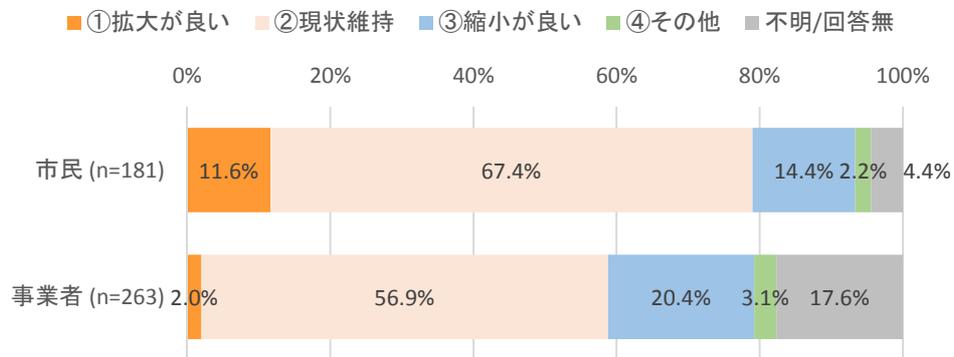


《質問事項》

問:実施した方が良くと思う時間はどれですか。(1つだけ)

トランジットモールの実施区間について（市民・事業者）

- 市民、事業者ともに、トランジットモールの現在の区間について「現状維持」と回答した人が50%。

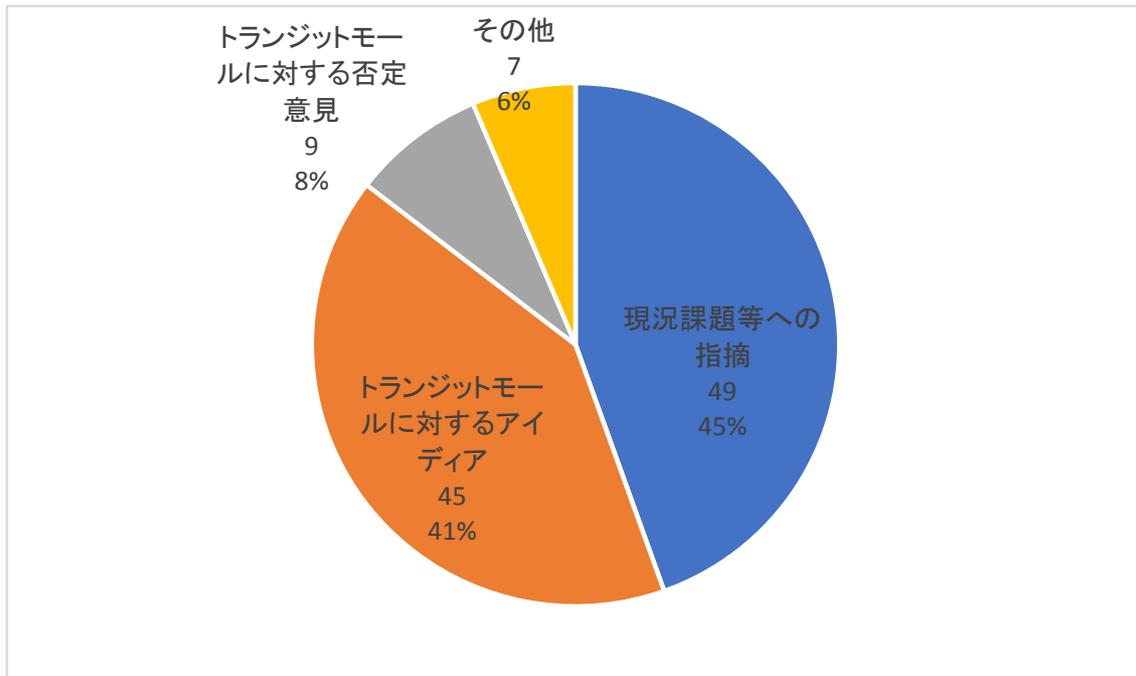


《質問事項》

問：現在の区間についてどう思いますか。（1つだけ）

自由意見（市民抜粋版）

- 市民からの自由意見について、以下のように分類。



【現況課題等への指摘】

- 現在は本来のトランジットモールになっていない。公共交通であるバスを締め出し、ホコテンになっている。
- 地元の人で賑わうようになったら良いと思う。国際通りそのものに魅力がないので難しい。
- とにかく暑いですよね。木や植物がもっとたくさんあると涼しげだし、木陰もできてすごしやすいのでは。
- 観光案内所にボランティア案内として入っていますが、来所客数が日曜日減少する。本来は増加すべきはずが、来街者からのニーズが充足していないということにほかならない。又、観点は違うが、県設置の花壇が撤去されたことも寂しく、事業者の意識の低さ、行政の連携の未熟さが露見される。これは是非改善を望みたい。
- トランジットモールではないけど、平日の一般車の路上駐車どうにかしてほしい。全面駐車禁止にするとか。

【トランジットモールに対するアイデア】

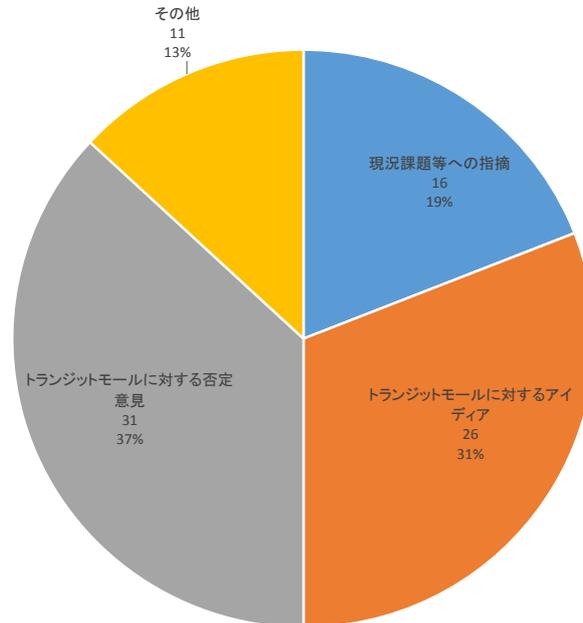
- 通り内の店舗はもっと集客の努力をするべき。表に特売品を出すとか、店の外でも商品が売れるようにした方がいい。銀座では、パン屋さんなど表で販売している。
- 老若男女が楽しめるイベント（数カ所）。暑さ対策。水飲み場があると思います。
- オーストラリア、ニュージーランド、ハワイ、タイ、シンガポールなども参考になると思います。観光客のみならず地元の人も行きたくなるような場所になってくれると嬉しい。ゴミ箱の設置や日よけ、パラソル、タープ等の暑さ、日射し対策があると良いと思います。ストリートダンス、スケートボード、BMX、音楽など、ストリートカルチャーを発信する場として提供するなどエンターテイメントが充実するともっと人が集まるのではないかと期待しています。それから美味しい食事とC a f e文化。色々な制約があると思いますが、より良く生まれ変わることを期待しています。緑地化、公園増設、セグウェイ等の利用可とかもあると嬉しいです。
- 熱意ある若手を起用。他地域(新潟市上古町)を参考に、那覇市らしい居心地の良い空間を少しずつ増やす。シビックプライド。自治会運営についてSNSを活用し、無理のない形での運営に移行し始めている。那覇市も一部試験的に移行し、市民意識を高めて欲しい。

【トランジットモールに対する否定意見】

- 国際通りを通らなければ自宅に帰れない場所に住んでいて、毎週同じ団体のエイサーの音量に悩まされている。国際通り上での観光客の駐車で渋滞がひどくなっている。観光客に国際通りに駐車しないよう周知徹底すべき。トランジットモール実施も月一回以下が良い
- トランジットモール必要なし。人が減ってさびしい那覇市になった。楽しく喜んで買い物に来れる昔の国際通りでありたいと思う！

自由意見（事業者抜粋版）

- 事業者からの自由意見について、以下のように分類。



【現況課題等への指摘】

- ごみ問題、月曜日の朝は舗道にゴミが散乱していることが多い。交通規制のため、遠方からのバスで来るお客様から「不便だ」と言われている。
- 国際通り、平和通りの地元離れに対してもっと考えるべきだと思う。おみやげ屋が多い通りをトランジットモールにしたところで観光しか増えないと思う。
- 国際通りは店舗だけではなく昔から住んでいる人も多くいます。通りへの道を使う周辺住人の事も考えてほしいです。足の不自由な年寄りの出入りに車が使えなくて困ってます。とにかく、ゴミのポイ捨て、路地へのゴミ置きも困ってます。イベントで利用する若干の方々の活躍は応援しますが、ご検討ください。ゴミが増えてます。
- 遠方(本島内)のお客様から日曜日は車が入れないので買物に来れないという話をよくされます。

【トランジットモールに対するアイデア】

- 内地の縁日の感覚で、各店舗の出店やアミューズメントパークのように客寄せをパフォーマンスとして演じるなどの発想の転換や逆手に取った手腕がほしい。
- 店舗より道の真中を歩行しているので売上につながらない。この日だけでも路上で物販させてほしい。
- 16～21時お昼は暑すぎて道を歩いている人があまりいないので、3月～11月は夜、12月～2月（オフシーズン）は昼とか。国際通りの居酒屋さんが、露店を出しても盛り上がりそう。
- 各通り会からランダムに出店し、モール内で販売等ができればPRにも繋がると思う。国際通り＝観光向けになっているため、地元民が来る導線を作らないと昔のようにはならないと思う。

【トランジットモールに対する否定意見】

- トランジットが始まって交通が不便になり日曜日お客様が来店できなくなり日曜営業できなくなり休みにしましたのでこの取り組みには反対です。
- トランジットモールの実施に反対します。集客が悪く日曜の売上がトランジット以外の時間が中心です。また、違法の黒煙をふくバスを通すのは働く人やお客様の健康、お店や商品の汚れに悪影響を与えています。早急な改善はここだと思います。
- 地元の方は果たしてトランジットモールに興味はあるのでしょうか。わざわざ交通機関等を利用してでも出て来るイベントとか必要かな？
- トランジットモールが集客につながるとは思いません。イベント的な事ならば他の公園等を使えばトイレ等の問題も無くなるのでは。

自由意見（国際通りにあまり訪れないと回答した人）

【現況課題等への指摘】

- 国際通りは観光客の為の通りという気がして、デパートもなくなり、足が向かない。トランジットモールにもあまり関心がない。
- 歩行者天国とどうちがうの？トイレの整備が必要。
- 周辺の交通量が多くなり不便している。できれば月一回日曜日程度に変更してほしい。トランジットモールの実施日での効果が聞こえてこない。
- トランジット時に限らずてんぶす付近の生活保護受給者を含むたむろ集団は景観も治安も損ねる。

【トランジットモールに対するアイデア】

- 市内小中学校にイベント出演させてはどうか？（例）5月1日の14時からA小学校、15時からB中学校何かやって！！保育園でもOK。今まで国際通りに来た事のない人がトランジットモールの良さに気づくキッカケになります。
- 問12-2（365日（終日）コミュニティバスのみ運行。大胆な運営、企画。国際通りを観光の中心に据える。（例えば、路面電車を走らせる）オール歩行者天国、フランスのようなカフェテラスなど。
- 観光客は日曜日だけではないので観光にはむしろ毎日開催が良い。夜市、フリーマーケット、オープンカフェなどもう少し自由にイベントを拡大しても良いのでは。
- イベント情報の確認する手段を整備して欲しい
- 家族で楽しめるイベントを企画してください。
- トランジットモールの実施時間を季節によって変えてはどうかと思います。
- 熱意ある若手を起用。他地域（新潟市上古町）を参考に、那覇市らしい居心地の良い空間を少しずつ増やす。シビックプライド。自治会運営についてSNSを活用し、無理のない形での運営に移行し始めている。那覇市も一部試験的に移行し、市民意識を高めて欲しい。問8-3（きれいなトイレを配置）問8-15（観光客、地元客、共通需要コンビニ、カフェ、雑貨店を増やす）問10-7（安価な移動サービスの提供）
- 継続することが大切・通り会との連携も重要だと思います。
- インターナショナルピープルズ。ミーティングイベント。ドリンク。ミュージック。ダンス。パーティー。
- 乳幼児の休憩所が欲しいです。
- 国際通りは今は観光客が行く場所という感じ。住民は避けて通る感じ。お年寄りでも楽しめる内容、空間創りをしていけば活力あるまちになるのかと思います。又、イベント情報が届いていないので広報すれば近くの住民も参加するのではないのでしょうか。

【トランジットモールに対する否定意見】

- トランジットモール必要なし。人が減ってさびしい那覇市になった。楽しく喜んで買い物に来れる昔の国際通りでありたいと思う！問12-2,3,5（無しが良い（トランジットモール））問12-4（トランジット無しが良い。集客がなくなっている。）

4.目指すべき将来像

4.1 将来像

- 国際通り各商店街の意見、ビジョン、市民アンケートを参考に、国際通りの目指すべき将来像を以下の通りとしました。

「市民・県民・観光客、みんなが交流できる楽しい空間」

4.2 国際通りトランジットモールの主要課題

- 那覇市国際通りトランジットモールビジョンの達成に向けた取組課題を以下の 3 つの柱を視点として整理を行いました。

I : 中心商店街の賑わい創出

II : 環境整備

III : 運営体制

I : 中心商店街の賑わい創出

(1) 集客力のあるイベント等の充実

- アンケート結果のトランジットモールに対して市民、事業者が感じる課題として、市民、事業者とも5割以上が「イベントが少ない、マンネリ化している」と回答しています。
- 国際通りトランジットモールの集客に向け、新たな取り組みが必要です。

(2) 地元客向け満足度の向上

- 売上の減少や国際通り各商店街振興組合からのヒアリングより地元客離れが顕著です。
- 地元客が満足し、来訪したくなる取組が必要です。

(3) 観光客向け満足度の向上

- 平成24年度を境に、沖縄への国内外入域観光客数が年々増加しています。
- 観光客の満足度向上の取組が必要です。

(4) 広報の強化

- 国際通り各商店街振興組合からのヒアリングよりトランジットモール実施時の広報が少ない状況です。
- トランジットモールの知名度向上に向けた取組が必要です。

II：環境整備

(1) 暑さ対策

- アンケート結果のトランジットモールに対して市民、事業者が感じる課題として、市民の6割、事業者の4割が「暑さ対策」と回答しています。
- 国際通り各商店街振興組合からも課題として挙げられています。
- 暑さ対策に向けた取り組みが必要です。

(2) 快適な歩行空間の創出

- アンケート結果のトランジットモールを良くするための取組として、市民の6割が「ベンチの設置」、「トイレの設置」と回答しています。
- 歩行者が快適となるような空間の整備が必要です。

(3) 交通アクセス性の向上

- 国際通り各商店街振興組合からのヒアリングより10番線以外の車両通行止めによりアクセス性が低下。また、アンケート結果のトランジットモール時の国際通り及び周辺地域の課題として、市民、事業者の3割程度が「駐車場不足」と回答しています。
- 交通アクセスの向上に向けた整備が必要です。

(4) 公共交通の利便性向上

- 国際通り各商店街振興組合からのヒアリングより10番線以外の車両通行止めによりアクセス性が低下。また、アンケート結果のトランジットモール時の国際通り及び周辺地域の課題として、市民、事業者の2割程度が「バス、公共交通が不便」と回答しています。
- 公共交通アクセスの向上に向けた整備が必要です。

(5) 日常的な渋滞の改善

- 平日の国際通り及び周辺地域の課題として、市民の4割程度が渋滞に関する項目を回答しています。
- 渋滞改善に向けた取組が必要です。

Ⅲ：運営体制

(1) 組織体制の強化

- 国際通り各商店街振興組合からのヒアリングより市や公共団体等との連携強化、専門委員会の結成等が提起されています。
- 第1回円卓会議よりイベント実施に当たって、実施主体、目的、公共性を明確にするよう意見がありました。
- 組織体制の強化に向けた取り組みが必要です。

(2) 運営資金の確保

- 国際通り各商店街振興組合からのヒアリングより収益に繋がるイベント作りが提起されています。
- 運営資金の確保に向けた取組が必要です。

4.3 想定される具体的方策の検討

○中心商店街の賑わい創出

a)オープンカフェ、キッチンカー、夜市等の実施

- 国際通りトランジットモールへの集客に向け、キッチンカーなどを活用したオープンキッチン、夜市を実施。



出典：千葉シティガイドマップ <http://www.chibacityguidemap.com/shops.php?shop=68>

b)各種イベント開催

- 国際通りトランジットモールへの集客に向け、季節ごとのイベントを開催。



出典：那覇市提供写真

c)トランジットモール関連商品の開発

- トランジットモール時限定の商品やキャラクターを開発。



出典：那覇市提供写真

d)写真スポットの設置

- 国際通りの入り口などに、写真スポットを設置。



出典：DEEokinawa <https://www.dee-okinawa.com/map/2011/12/kao-jaxa.html>

e) ポケットパークなどの空間の有効活用

- 国際通り沿線にあるポケットパークにおいて、イベントや物販などに空間を有効活用。
(国際通りてんぷす前広場)



出典：那覇市提供写真

f) HP、チラシなど様々な媒体を活用した配信

- SNS の活用や広報担当を設置。その他、案内チラシの作成。

イベント & 新着情報

2018年01月09日★1月14日 トランジットモール情報★

2018年02月05日
★2月11日 トランジットモール情報★

【那覇子前郵便局前】 <団体名>大連荘 マーサ
<内容>大連荘 <時>

国際通り～那覇市国際通り商
1999 (1999.12.1) のあ

【国際通り (1999.12.1) のあ】

「あまのり」したあまのりではないぞん

国際通り～那覇市国際通り商店街
振興組合連合会

2月11日 トランジットモール情報★

【那覇子前郵便局前】
<団体名>大連荘 マーサ
<内容>大連荘、もっと思

毎週
日曜日
開催中

国際通りのホコ天
トランジットモール

庄巻のエイサー!エイサー!エイサー!
一万人のエイサー踊り隊

出典：那覇市国際通り商店街 <https://naha-kokusaidori.okinawa/>

人に優しいまち・歩いて楽しいまち
那覇市国際通り 社会実験

トランジットマイル

実施日時 1月21、22、23日 14:00～20:00

那覇市国際通りトランジットマイル実行委員会

国際通りが快適空間「トランジットモール」に!

人に優しいまち・歩いて楽しいまちに変わります。

実施日時 1月21、22、23日 14:00～20:00

100円トランジットバス運行区

● 国際通り (14:00～20:00) ● 100円トランジットバス運行区 (14:00～20:00) ● 100円トランジットバス運行区 (14:00～20:00)

トランジットモール区間
※実施中は、バス乗車は入れません (14:00～20:00)

出典：国土交通省 HP http://www.mlit.go.jp/road/road/yusen/chiku_gaiyo/42/index.html

○環境整備

a)開催日、時間、回数、区間の変更

- 国際通りトランジットモールの開催日、時間、回数、区間について変更。



出典：全国商店街支援センターHP<http://www.syoutengai-shien.com/news/201408/19-01.html>

b)トイレ環境の整備

- 国際通り周辺の店舗と連携したトイレ環境の整備、案内の強化。



出典：那覇市提供写真

c)休憩所（椅子とテーブル）の設置

- 国際通りトランジットモールへ休憩所の設置。



出典：長野銀座商店街振興組合 HP <http://n-ginza.net/outline/>

d)ミストシャワーの設置

- 国際通りへ暑さ対策としてミストシャワーの設置。



出典：那覇市提供写真

e)遮熱性舗装等の整備

- 保水性舗装、遮熱性舗装などにより路面温度を下げる取組の実施。

路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術



○路面温度上昇抑制機能を有する舗装には、主なものとして、保水性舗装と遮熱性舗装がある。

	概要	イメージ図	施工方法
保水性舗装	舗装の空隙に 保水材を充填し、それに吸収された水が蒸発散する際の気化熱によって路面温度を低減する舗装		<p>振動ローラによる保水材注入</p>
遮熱性舗装	表面で赤外線を反射させて路面温度の上昇を抑制する舗装		<p>遮熱材の吹き付け</p>

出典：国土交通省 HP

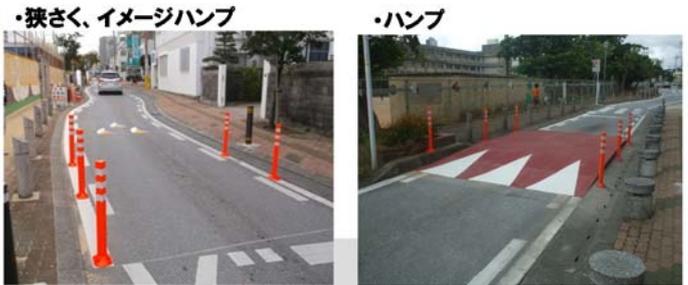
f) 生活道路の安全対策

- 国際通り周辺地域の生活道路への車両の進入に配慮した安全対策の実施。

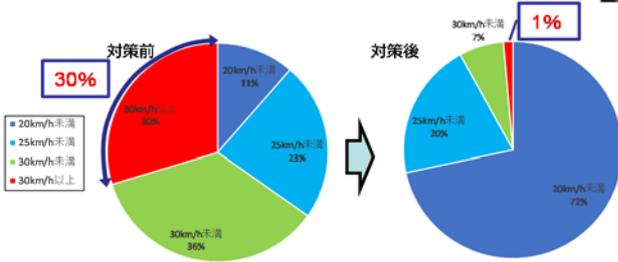
●位置図



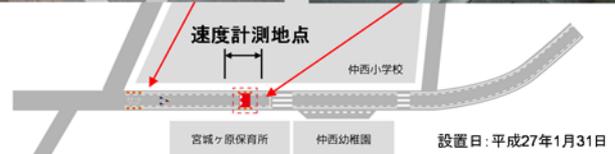
●生活道路対策の実施事例(浦添市仲西小学校前)



●ハンプ設置後の車両速度分布の変化



対策前:平成27年1月22日速度計測
対策後:平成27年2月19日速度計測



▲ハンプ整備後、30km/h以上の速度の構成比が大幅に減少

出典:沖縄県公共交通活性化推進協議会

4

出典:沖縄県交通安全マネジメント検討会議(沖縄総合事務局)

参考) 各種対策

交通安全上の問題点	対策の考え方	主な対策案	
		ソフト対策	ハード対策
通り抜け交通が多い	・通過交通の抑制	ゾーン30 時間帯通行規制	スムーズ歩道(幹線道路の歩道部) ライジングボラード
走行する速度が速い	・速度低減	ゾーン30	スムーズ横断歩道 ハンプ(単路) ハンプ(交差点) シケイン(スラローム)
歩行者、自転車の安全な空間が確保されていない	・歩行者、自転車空間の確保 ・路上駐車抑制	歩車分離信号 取締り、交通指導、交通規制	歩行空間の確保、注意喚起(サイン) 自転車通行空間の確保 防護柵

※対策メニュー:生活道路のゾーン対策マニュアル(発行 交通工学研究会)及び浦添市通学路第2回WS資料(主催 国際交通安全学会主催)より選定

g) トランジットモール区間内の移動補助

国際通りトランジットモールへ区間内の移動を補助する乗り物を導入。



(100円バス、トゥクトゥク、ベロタクシー、自動運転車両 等)

h) バス路線拡充

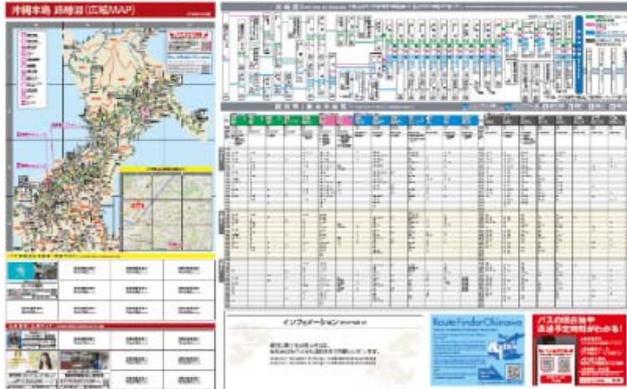
国際通りを通過するバス路線を拡充。



(那覇市内を走行する10番線)

i) 分かりやすい案内表示等

- 国際通りへ分かりやすいバス停の案内表示の設置。



(国道 58 号仲西付近のバス停)

j) 公共交通利用者への特典等

- 国際通りまで公共交通を利用した人への特典の実施。

出典：沖縄事務局 HP

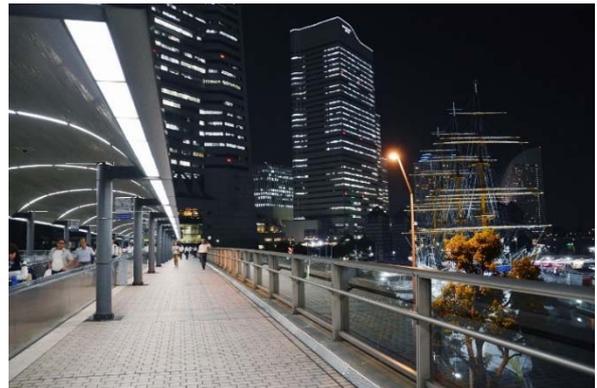
k)モノレール駅、バスターミナルと連携した歩行連続性の確保

- 国際通りまでの歩行連続性確保の手段として、モノレール駅やバスターミナルからペDESTリアンデッキ、動く歩道などの検討。

(牧志駅からの連絡通路)



(横浜桜木町駅周辺の動く歩道)



出典：はまの景 <http://album.hamacco.net/jp/2014/img20140722195526/>

l) ルート案内や駐車場案内サービスの導入

- WEB でのルート案内や駐車場案内サービスの導入。

<カーナビに駐車場情報表示>



満車	混雑	空車	閉鎖	不明
90%以上	70%~90%	70%以下	—	情報なし

出典：沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会第2回資料

m) 車両横断箇所の検討

- 国際通りと交差する道路において、現況の渋滞状況や利便性、安全性等を整理し、車両横断箇所を検討。

n) 荷捌き車両対策、交差点の改善

- 日常的な渋滞対策として荷捌き車両対策や交差点の改善。

《荷捌き対策》



<駐車場入り口付近に設置する看板>



<看板設置状況>



<荷さばき活用例>



○運営体制

a)地方公共団体を含めた運営主体の構築

- 各具体的施策の実現に向け、公益に資する取組として地方公共団体を含めた運営主体を構築。

b)各店舗との協力体制の強化

- 各具体的施策の実現に向け、競争力のある商品の開発、情報発信、販売等の協力体制を強化。

c)運営企画に特化した組織の立ち上げ

- 各具体的施策の実現に向け、運営企画に特化した組織の立ち上げ。

d)まちづくり会社の創設

- 各具体的施策の実現に向け、まちづくり会社の創設。

e)出店料など徴収の可能性

- 国際通りトランジットモールにおいて出店料を徴収し維持管理に充てる。

参考：道を活用した地域の事例

国家戦略特別区域法

【概要】

- 内閣総理大臣が決定した国家戦略特別区域ごとに作成される区域計画に基づく道路占用許可の特例制度
- 国際通りではすでに3箇所が指定されているが、十分な活用がなされていない

【対象物件（利用者の利便増進に資するもの）】

- 良好な景観の広告塔又は看板
- 標識又はベンチ、街灯
- 食事施設、購買施設、その他これらに類するもの
- 自転車駐車器具で自転車を賃貸する事業に要するもの
- 国内外の来訪者・滞在者のための広告塔、ベンチ、街灯、露店、商品置場、看板、標識、旗ざお、幕及びアーチ

事例：福岡県福岡市「国家戦略道路占用事業」

【概要】

- 福岡市では、国家戦略特別区域法に基づく、道路占用許可の特例制度を活用し、路上イベントを開催（MICE などのイベント開催日及び土日祝日において、道路上でベンチの設置やストリートパフォーマンス、懇親会など）
- まちの賑わいと主に大きな経済効果を創出



写真出典：福岡市

事業主体	(公財)福岡観光コンベンションビューロー、We Love天神協議会、博多まちづくり推進協議会、御供所まちづくり協議会、一般財団法人福岡コンベンションセンター、西日本鉄道株式会社、福岡地所株式会社、中洲町連合会、上川端商店街振興組合、川端中央商店街振興組合
実施場所	天神駅周辺、博多駅周辺など(市道)
経緯	・H26.9 国家戦略特別区域法に基づく、道路占用許可の特例制度の活用を含む区域計画の認定(全国初の事例) ・H26.11~ 随時、事業実施中 ・H27.10 事業主体として新たに6団体を追加する区域計画の認定
事業概要	路上イベントの開催 :MICEなどのイベント開催日及び土日祝日に、区域計画で指定した道路にベンチ、露店などを設置し、ストリートパフォーマンスやMICEの懇親会などを開催。
ポイント	・産業の国際競争力の強化及び経済活動拠点の形成を目指す福岡市が、複数のエリアマネジメント団体などと協働。
効果と課題	・路上イベントに多数の参加者が集まり、まちの賑わいととも大きな経済効果を創出。

参考：道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン(平成28.3 国土交通省道路局)

参考：道を活用した地域の事例

都市再生特別措置法

【概要】

- 市町村が作成する都市再生整備計画に基づく道路占用許可の特例制度
- 那覇市では未作成

【対象物件（利用者の利便増進に資するもの）】

- 良好な景観の広告塔又は看板
- 標識又はベンチ、街灯
- 食事施設、購買施設、その他これらに類するもの
- 自転車駐車器具で自転車を賃貸する事業に要するもの

事例：鳥取県鳥取市「鳥取駅前太平線再生プロジェクト」

【概要】

- 鳥取市では、都市再生整備法に基づく、道路占用許可の特例制度を活用し、駅前再生のシンボルとしてシェルター、芝生広場、休憩施設（テーブル、椅子）を整備。休日は、芝生広場や通行止めした道路で賑わいづくりのイベントを開催
- 全天候型の芝生広場などが、集いやふれあいの空間として機能し、まちの賑わいを創出



写真出典：鳥取市、日本みち研究所

事業主体	新鳥取駅前地区商店街振興組合
実施場所	駅前太平線(市道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H20～21 鳥取駅前の賑わいづくりの社会実験を実施 ・H23 鳥取市が、鳥取駅前太平線再生プロジェクト基本計画を策定 ・H24～25 大屋根(シェルター)、芝生広場の整備 ・H25 事業主体と鳥取市が、管理活用協定を締結 ・H25.12 都市再生特別措置法に基づく特例道路占用区域を指定 ・H26.2～ 休憩施設の道路占用許可を受け、事業実施中
事業概要	賑わい空間活用事業 ：駅前再生のシンボルとして、大屋根とともに整備した芝生広場に休憩施設(テーブル、椅子)を設置。休日は、道路占用許可を受け、芝生広場や通行止めした道路で賑わいづくりのイベントを開催。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取駅前太平線再生プロジェクト基本計画の策定に当たり、地元商店街、有識者などを含めた検討委員会を開催し、合意を形成。 ・事業主体と鳥取市が協議を重ね、大屋根、芝生広場の利用規程を策定。大屋根開閉、芝生管理、道路維持活動など、施設の活用について委託契約を締結して事業主体が維持管理。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全天候型の芝生広場などが、集いやふれあいの空間として機能し、まちの賑わいを創出。

参考：道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン(平成28.3 国土交通省道路局)

参考：道を活用した地域の事例

中心市街地の活性化に関する法律

【概要】

- 市町村が作成し、内閣総理大臣が認定する中心市街地の活性化に関する基本計画に基づく道路占用許可の特例制度
- しかし、那覇市では「中心市街地の活性化に関する基本計画」が策定されているものの、内閣府総理大臣の認定を受けていないため、活用が困難

【対象物件（利用者の利便増進に資するもの）】

- 良好な景観の広告塔又は看板
- 標識又はベンチ、街灯
- 食事施設、購買施設、その他これらに類するもの

事例：群馬県高崎市「高崎まちなかオープンカフェ・コミュニティサイクル」

【概要】

- 市役所等の公益施設が集まる西部地区と高崎駅を中心に商業施設が集まる東部地区とを結ぶ道路を中心にオープンカフェを設置
- 回遊性の向上と賑わい創出のため、オープンカフェと同じエリアの道路などに自転車駐車器具を設置



写真出典：高崎商工会議所

事業主体	高崎まちなかオープンカフェ推進協議会 高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会
実施場所	高崎市中心市街地地区(県道、市道)
経緯	・H24 高崎商工会議所を中心とする推進協議会を設置し、社会実験を実施 ・H25 都市再生特別措置法に基づく特例道路占用区域を指定 ・H25.4～ 食事施設、自転車駐車器具などの占用許可を受け、事業実施中
事業概要	オープンカフェ事業 ：市役所等の公益施設が集まる西部地区と高崎駅を中心に商業施設が集まる東部地区とを結ぶ道路を中心にオープンカフェを設置。 コミュニティサイクル事業 ：回遊性の向上と賑わい創出のため、オープンカフェと同じエリアの道路などに自転車駐車器具を設置。
ポイント	・道路管理者(県、市)、警察、都市計画・市街地整備・産業政策部局を含めた勉強会を開催し、事前に事業イメージを共有。 ・社会実験を実施することにより、安全性等の観点を含め、事業の効果を検証。 ・事業主体が地元の意見調整を行い、オープンカフェ出店者を決定。
効果と課題	・オープンカフェとコミュニティサイクルの連携により、魅力ある中心市街地を形成。 ・道路の維持管理費の削減、良好な景観形成などに効果。

参考：道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン(平成28.3 国土交通省道路局)

参考：道を活用した地域の事例

その他

事例：高知県高知市「土佐の日曜日」

【概要】

- 高知市では、高知市道路占用規則に基づき、4車線道路の片側2車線を利用し、毎週日曜日（終日）に、全長約1,300mにわたり、約430店舗が軒を並べる生活市を開催
- 市民に加えて県内外からの観光客など、1日に約1,7000人の集客があり、直接的な経済効果は20億円、生産・観光などを含めた波及効果は約30億円と試算



写真出典：高知市

事業主体	高知市
実施場所	高知街1号線(追手筋)(市道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> 元禄3(1690)～市内3か所で日取りを定めて街路市を開始 明治9～日曜市にまとめて開催 昭和23～現在の位置で事業実施中
事業概要	路上への露店の出店 4車線道路の片側2車線を利用し、毎週日曜日(終日)に、全長約1,300mにわたり、約430店が軒を並べる生活市を開催。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 元禄3年(1690年)以来、300年以上の長い歴史を持ち、市民に親しまれるとともに警察などの関係者の理解も深い。 高知市道路占用規則で、街路市に係る占用料を別途設定。 出店者4組合の各代表者等と市からなる街路市運営協議会を設立し、新しい決めごとなどを協議。 市が出店調整、警備員の配置、休憩施設(テント)設置などを実施。 高知大学と連携し、休憩施設の運営や出店者のサポートを高知大学学生が実施(学生サポーター事業)。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民に加えて県内外からの観光客など、1日に約17,000人の集客があり、直接的な経済効果は約20億円、生産・観光などを含めた波及効果は約30億円と試算。 後継者不足、地元客の呼び戻し、出店者増加対策などが課題。

参考：道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン(平成28.3 国土交通省道路局)

ビジョンの実現に向けた柱

I : 中心商店街の賑わい創出

- 商店街離れが進む地元客やインバウンドを中心に増加が顕著な観光客等、顧客それぞれのニーズに対応した魅力ある商品やサービス等、誰もが安全・安心・快適に買い物や散策が楽しめる魅力ある商環境が求められています。

II : 環境整備

- 誰もが移動しやすい快適な歩行者空間の整備等を実現することで、賑わいと回遊性が生まれる国際通りにしていくことが求められています。
- 交通アクセスの改善や新たな交通基盤の整備、公共交通のさらなる利用促進を図ることで自動車交通を抑制するとともに、国際通り周辺での観光バス乗降場や中心市街地外での観光バスの待機場を整備することで交通渋滞を緩和することが求められています。

III : 運営体制

- トランジットモールや様々な制度の活用に向け、事業者や関係機関等の組織を構築・強化していくことが求められています。

主要課題

- (1)集客力のあるイベント等の充実
- (2)地元客向け満足度の向上
- (3)観光客向け満足度の向上
- (4)広報の強化

- (1)暑さ対策
- (2)快適な歩行空間の創出
- (3)交通アクセス性の向上
- (4)公共交通の利便性向上
- (5)日常的な渋滞の改善

- (1)組織体制の強化
- (2)運営資金の確保

想定される具体的施策の検討

- a)オープンカフェ、キッチンカーや夜市等の実施
- b)各種イベント開催
- c)トランジットモール関連商品の開発
- d)写真スポットの設置
- e)ポケットパークなどの空間の有効活用
- f)HP、チラシなど様々な媒体を活用した配信

- a)開催日、時間、回数、区間の変更
- b)トイレ環境の整備
- c)休憩所（椅子とテーブル）の設置
- d)ミストシャワーの設置
- e)遮熱性舗装等の整備
- f)生活道路の安全対策
- g)トランジットモール区間内の移動補助
- h)バス路線拡充
- i)分かりやすい案内表示等
- j)公共交通利用者への特典等
- k)モルル駅、バスターミナルと連携した歩行連続性の確保
- l)ルート案内や駐車場案内サービスの導入
- m)車両横断箇所の検討
- n)荷捌き車両対策、交差点の改善

- a)地方公共団体を含めた運営主体の構築
- b)各店舗との協力体制の強化
- c)運営企画に特化した組織の立ち上げ
- d)まちづくり会社の創設
- e)出店料など徴収の可能性

5. 参考資料

5.1 円卓会議及び関係者調整

- 平成 29 年度円卓会議や関係者調整の開催スケジュールは以下の通り。

■ 円卓会議

会議名	開催日	協議内容
国際通り及び周辺商店街、周辺住民、那覇市民協働大使を対象にアンケートを実施（H29/8～9）		
第 1 回 意見交換会	平成 29 年 11 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果の情報提供 第 1 回トランジットモールビジョン策定円卓会議資料の確認 事業者の方針
国際通り事業者へヒアリングシート記入を依頼（H29/11/21）及び回収（H29/12/7）		
第 1 回 トランジットモールビジョン策定円卓会議	平成 29 年 12 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> 今後のあり方（ビジョン）策定の考え方の確認
第 2 回 意見交換会	平成 30 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回トランジットモールビジョン策定円卓会議の議事内容確認 第 2 回トランジットモールビジョン策定円卓会議資料の確認 事業者の方針
那覇警察署・ 県道路管理課 ヒアリング	平成 30 年 2 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> 道路を活用した取組に関する手続き、課題等確認
第 3 回 意見交換会	平成 30 年 2 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 回トランジットモールビジョン策定円卓会議資料の確認 事業者の方針
第 2 回 トランジットモールビジョン策定円卓会議	平成 30 年 2 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> 那覇市国際通りトランジットモールビジョン（案）の確認 ビジョン実現に向けた今後の進め方について確認

トランジットモールビジョン策定円卓会議

参加者名簿

分野	役職	所 属 等
学識者	准教授	琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース
市民代表	会長	くもじ地域自治会
	会長	松尾二丁目自治会
国際通り 事業者代表	理事長	那覇市国際通り商店街振興組合連合会
	理事長	那覇市国際通り県庁駅前商店街振興組合
	理事長	那覇市国際中央通商店街振興組合
	理事長	那覇市国際大通り商店街振興組合
	理事長	那覇市国際蔡温橋通り商店街振興組合
	会長	那覇市中心商店街連合会
交通 事業者		(一社) 沖縄県バス協会
		那覇バス (株)
		(株) 琉球バス交通
		沖縄バス (株)
		東陽バス (株)
		(一社) 沖縄県ハイヤー・タクシー協会
行政	課長補佐	沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課
	課長補佐	沖縄総合事務局 運輸部 企画室
	課長補佐	沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課
	班長	沖縄県 企画部 交通政策課
	班長	沖縄県 土木建築部 道路管理課
	班長	沖縄県 土木建築部 南部土木事務所 計画調査班
	課長補佐	沖縄県警察本部 交通部 交通規制課
	係長	沖縄県那覇警察署 交通対策課
	課長	那覇市 都市計画部 都市計画課
	課長	那覇市 建設管理部 道路管理課
	課長	那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課
事務局		那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課



第1回トランジットモールビジョン策定円卓会議（H29.12.20）



第2回トランジットモールビジョン策定円卓会議（H30.2.13）

第 1 回 トランジットモールビジョン策定円卓会議

議事要旨

日時：平成 29 年 12 月 20 日（水）

10：30 ～ 12：00

場所：那覇市役所 12 階会議室

■意見交換

発言者	主な意見	回答など
那覇市 国際蔡温橋通り 商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> 近年では観光客が急増している。今回のビジョン策定において、ターゲットをどこに絞るのかはっきりさせる必要があるのではないかと。 大型商業施設が撤退して以来、地元の人にとって魅力がなくなっている。 目的と主旨をはっきりさせる必要がある。 	
那覇市 国際大通り 商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査票の統計的な妥当性を教えてほしい。 大通りとしては、観光客と地域住民の交流をビジョンとして掲げており、飲食への要望が多いものとなっている。特に夜の扱い方が非常に気になっている。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収率について、600 事業者に対して約 5 割弱の回収率となっており、統計的には 95% の信頼性がある結果になっていると考えられる。 トランジットモールのターゲットについて、どこを対象にするのではなく、観光客と地元客それぞれ重要視する必要があるのではないかと考えている。地元客を引き込むための方法については、今後連合会と調整して詰めていきたいと考えている。 夜市の実施については、今後検討していきたいと考えている。
那覇市 国際中央通 商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> アンケート手法について、択一方式は不適切ではなかったかと感じる。 中央通としては、トランジットモール実施前からの事業者が多く肯定的な意見がでない。 ターゲットとしては観光客と地元両方重要であると考え。観光だけに目を付けるのではなく、地元客、地元の商店をどう残していくのかを一緒に考えて頂きたい。 事前のヒアリングシートをお渡ししているが、どのような取り扱いになっているのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 3、12 ページの方へ取りまとめを行っている。

発言者	主な意見	回答など
<p>那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモール等の課題等について中心に議論するべきではないか。 ・ ターゲットや、どういった方向性にするかについては、今後商店街の皆さんで考えていくことになる。那覇市が中心に考えるものではないと考えている。 	
<p>那覇市 国際通り 県庁駅前 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモールについては、業種、業態ごとのコンセンサスは得られていない状況である。しかし、地元回帰というのは共通の認識である。 ・ トランジットモールを活用も含め、様々な手法を考えてはきたが、法的規制が強く何も出来ない状況である。 	
<p>那覇市 国際通り 商店街振興組合 連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の意見については、詳細なニュアンスがそれぞれあるため、関係機関に直接確認頂きたい。どこがまとめるのかは分からないが、まずは各商店街がどう考えているのかを確認頂きたい。 ・ 法的規制について、どのようなハードルがあるのか教えて頂きたい。 	<p>(沖縄県道路管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原則の話として、道路の目的以外での使用となる場合は、一定の公共性、地域住民の合意形成がなされたということを示したうえで、具体的な内容の話になるかと思う。 ・ 現在、具体的な内容があるというのであれば、那覇市の計画上の位置付け等整理をして頂ければ道路管理者としても参加可能であると考えている。
<p>那覇市 国際通り 県庁駅前 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一昨年、移動水族館の実施を依頼したが許可が下りなかった。そのほかのイベントの際も同様で、これらの繰り返しは 10 年間続いている状況となっている。 	<p>(沖縄県道路管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路本来の目的が優先されるため、申請だけされても基準や法規制に合致しないため許可できないのが通常の対応となるのではないかと。 ・ 今の話について、特別な目的であって、公共性の部分についての議論や、地元の住民含めてイベントの合意について議論がされたうえでの話であったのか、単純に申請だけされたのか状況が不明である。 ・ 那覇市等の公共団体や地域の団体に関わった上で、施策としての位置づけもあり、方向性も十分議論されているという状況であればそこからの話になると考える。

発言者	主な意見	回答など
<p>那覇市 国際通り 商店街振興組合 連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> イベント実施の申請について、一つ一つにどのようなハードルが存在するのか教えて頂きたい。 	<p>(沖縄県道路管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入口論の話として、通り会の皆さんと那覇市が占用主体となりうるのか、計画があつてその中の取組としてのイベントであるという明確な位置づけを明示して頂くことが入口となる。 その上で、特別な使用が許可できるのかどうかについては手続き上の話となってくる。
<p>那覇市 国際通り 県庁駅前 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> そのようなことであれば、まずは那覇市との調整が必要であるという理解で良いか。 	<p>(沖縄県道路管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントについて地域の合意が得られていること、行政の施策の中で位置付けを明示することが一番わかりやすい。 一定の議論がされており、公共性の部分も方向性が明確になっているのであれば、議論は可能であると考える。
<p>沖縄県 那覇警察署 交通対策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> トランジットモールは歩行者天国ではなく、歩行者と車両が混在しており、道路交通法が適用されるため、セグウェイなどは乗り入れができない状況である。 歩行者を通してのイベントなのか、車両を通してのイベントなのか、これらは法規制上両立できない。 もし、道路上でセグウェイや幼稚園バスといったイベントを行うのであれば、歩行者天国とし道路性を消す必要がある。事務局や国際通り連合会が全責任を持ってやるということであれば、可能性はないとは言えない。ただし、交通事業者や沿線住民の合意が得られない限り難しいのではないか。 国際通り事業者側が今後どう対応するのか方向性を示す必要がある。 トランジットモール事務局との連名であれば、那覇署は最大限規制を緩和していこうという方向性で進めている。ただし、条件としてトランジットモール委員会の同意が必要、安全性が担保されている、道路交通法に配慮したイベントであることが条件である。 キッチンカーを入れたいのか、人を入れたいのか、すみわけを整理する必要があるのではないか。 	

発言者	主な意見	回答など
<p>那覇市 国際通り 県庁駅前 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者天国にすることで道路交通法は適用されないという理解で良いか。 	<p>(那覇署)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路交通法が適用されないということではなく、道路交通法により車両が一切排除されたという環境である。そのような状況であれば、確認は必要だがキッチンカーなども入れることは可能であると考えられる。
<p>沖縄県警察本部 交通部 交通規制課</p>	<ul style="list-style-type: none"> トランジットモールの許可をもって、トランジット内の全てのイベントに許可が下りるわけではない。イベントごとにトランジットと違うことを実施するのであれば、個別許可が必要となる。県道路管理課からあったように、地域の合意形成が図られたうえでであれば、最大限、警察も許可できるよう検討しているところである。 その場合、エリアの内外で行われているイベントについて、通り会ごとにすべてを管理することが可能なのか。 飛び込みのイベントを受けてしまうと、判断基準があいまいなため、審査が難しくなると考えられる。 	<p>(県庁駅前商店街振興組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際通りの性格上、多種多様なイベントを実施することが可能であり、そのようなイベントに対して一つ一つ許可を取るのとは現実的ではないのではないか。 イベントを気軽に実施させられればよいと考えている。
<p>(一社) 沖縄県バス協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年から実施されて、未だにこのような議論がなされていることに驚いている。 トランジットモール主催者が 10 番線の乗り入れを禁止してもらいたいという考えでまとまれば、バス協会、那覇バスなどは協議を行っていききたい。 トランジットモールによる賑わいについて、国際通りを中心とした賑わいなのか、その周辺にも波及しているのか、していないのであればその原因についてまとめて頂きたい。 	
<p>(一社) 沖縄県 ハイヤー・タクシー協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料の方でタクシー乗り場のことが取り上げられているが、事業者としては求めているものであり、利用者からも利便性、安全性向上を含めて求められているところである。 どこで集約化するのか、利便性、安全性が向上するかなど検討頂き、それに応じてタクシーの配置など対応していききたいと考えている。 	

発言者	主な意見	回答など
くもじ地域 自治会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 市民の観点として、今回の話を聞いていると、何のために規制をしているのか、通り会がどうしたいのかをはっきりさせないと議論は難しいと感じた。トランジットモール、歩行者天国の考え方を整理してもらいたい。 ▪ 日曜日の昼間、特に夏場の国際通りは暑く、道路の中心を歩こうとは思わない。 	
沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アンケート結果でトランジットモールが渋滞に影響を与えているという結果があったが、沖総局で実施した分析を見ると、トランジットモール実施時と未実施の休日、祝日を比較したところ、大きな差はなかった。 	
沖縄県 企画部 交通政策課	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 過渡な自動車利用抑制のためにトランジットモールの推奨を行っており、アンケートを見ると、市民は肯定的、商業者は慎重な意見が伺える。 ▪ 公共交通の利用推進も行っているため、トランジットモールに訪れる際、現在バスが行っている日祝のファミリー割引の広報などと併せて周知頂ければと考えている。 	

発言者	主な意見	回答など
<p>那覇市 都市計画部 都市計画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 3、5～7 ページに計画が整理されているが、那覇市では交通基本計画に基づき、国際通り周辺の交通計画を進めていきたいと考えている。 ・ 交通基本計画の策定に当たっては、国際通り商店街振興組合連合会、那覇市自治会連合会、経済同友会、バス、タクシー、モノレール関係の事業者、総合事務局開発建設部、運輸部、沖縄県、警察等と協議会を設けてまとめたものとなっている。 ・ 国際通りについては、トランジットモールを目指しており、乗りたくなるようなモデル性の高い基幹的な公共交通の導入を考えている。 ・ 周辺については歩いて楽しいまちづくりを目指すと記載されている。 ・ 国際通りについて、歩行者天国を目指すのか、トランジットモールを継続するのかが大きなポイントとなると考える。交通の全体の流れとしては、公共交通の利便性を上げ、国際通りにアクセスしやすく、移動しやすいまちづくりをしようという考え方がベースとなっているため、詳細に議論を詰めていかないと見えて来ない部分がある。 ・ 那覇市だけのトランジットモールが出来ても良いのではないかと考えており、今後議論していければと考えている。 	

発言者	主な意見	回答など
<p>琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きく3点、1つ目はデータを基に話をした方が良いのではないかと。10年前は取れなかったデータが現在は取れるようになってきているのでそれに基づいた話をした方が良いのではないかと。 ・ 2つ目は、トップダウンの計画づくりではなく、ボトムアップで各商店街の計画を策定されてはどうか。行政の立場として、地域で施策を行う場合は物語が必要。例えば、那覇市にとって国際通りがどう位置づけられているのか、活性化することで那覇市、商店の人、地域住民にとって公共の福祉に寄与するという物語が必要であり、その物語に対して今回のイベントがどう寄与するのかが必要。それがあの方が、道路管理者、交通管理者も話がしやすい。 ・ 3つ目は、夏場に暑い中道路を歩く経験が本土には中々ない。観光は環境の変化であるともいえる。国内の人にとって変化と言えるもの考える必要がある。福岡と言えば屋台というイメージがあるが地元の人ほとんど行かない。京都では生活が文化を築いている。 ・ 重要なのは、この地域全体でどうやっていくのか、どう見られるのかについて、手間はかかるがボトムアップ形式で計画を作っていく必要があると感じた。 	
<p>那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモールをどう考えるのか、那覇市がトップで考えるのではなく、地元がどうしていきたいのかを中心に積み上げて実現していきたいと考えている。 ・ 那覇市としても交通のあり方や考え方も含めて、現在、着地点は見えていないが、今後進めていきたいと考えている。 	

第 2 回 トランジットモールビジョン策定円卓会議

議事要旨

日時：平成 30 年 2 月 13 日（火）

14：00 ～ 16：00

場所：那覇市役所 12 階会議室

■意見交換

発言者	主な意見	回答など
那覇市中心商店街 連合会	<ul style="list-style-type: none"> 今回のビジョン策定の目的について、トランジットモールを継続することが前提であるのか。 ビジョン策定の議論について、10 年前と同じ議論をしているのではないか。 今後、トランジットモール実施の見直しを含めて関係機関との議論を行ってほしい。 	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> トランジットモールの実施日時、区間について見直しが必要であれば中長期的に検討していく予定。 短期的な検討として今の枠組みの中で取り組めるものを議論していく。 10 年前の議論とは違い、今回の議論では可視化したビジョンを取り上げている。
琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース	<ul style="list-style-type: none"> 本ビジョンの目標年次はあるのか。 	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> 現時点で、具体的に設定はしていない。事務局としてスケジュールのイメージはあるが、今後具体的な目標年次について議論を詰めていく予定。
(一社) 沖縄県バス協会	<ul style="list-style-type: none"> 資料 1、42 ページについて、紫の矢印の箇所が違うのではないか。 関係機関の役割について、道路管理者である県を事業実施主体として位置付けるべきではないか。 荷捌き車両対策の実証実験について、具体的な内容を教えていただきたい。また、H31 以降の効果検証及び本格実施に向けた検討について、4 年間以上かかるイメージであるのか。 	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> 資料、42 ページについては線がズレているため修正を行う。 今回取り上げた関係機関の役割については事務局案である。今後沖縄県道路管理課と役割について協議を詰めていく予定。 荷捌き車両対策の実証実験について、検討段階であり具体的な内容はまだ検討していない。今後、実験に向けて調整を詰めていく予定。
那覇市中心商店街 連合会	<ul style="list-style-type: none"> 効果検証等のトランジットモールの検討について、国際通りだけではなく、周辺商店街も含めて進めていくことが必要。 短期のスケジュールについて、今後 5 年の中で、国際通り周辺では市民会館の整備、一銀線改良、牧志公設市場の立て直しなど、様々な事業が進むことが想定されるので、関連事業も含めたスケジュール整理を行うことが必要ではないか。 	

発言者	主な意見	回答など
<p>琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモールの時間的な変更について、来年にでも実証実験などできるのか。 	<p>(那覇警)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を変更するのであれば、前年度からの予算確保が必要であり、少なくとも1年前以上から合意形成を図ることが必要。 ・ 規制標識の変更等の規制手法を検討するので、実証実験前の早い段階で関係機関と詰めていく必要がある。
<p>那覇市 国際中央通 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横断箇所の再検討について、どのくらいの期間で整備まで行うことが可能であるのか。 ・ トランジットモール区間での車両横断箇所について、一銀通りの交差点を通してもらいたい。 ・ トランジットモールの開催時間について、多くの事業者から早めに変更してほしいと意見が挙がっている。長期的な検討ではなく、短期的な検討を行ってほしい。 	<p>(県警)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、浮島通りなど数か所ほど、横断箇所を設置している。新たに整備する必要がある箇所については、住民との合意形成を図れば整備することが可能。しかし、歩行者の安全対策について、十分検討する必要がある。 ・ 開催時間、開催日時の変更については、交通管理者だけでは判断できない。道路に関係する関係機関との合意形成を踏まえての判断となる。
<p>沖縄バス(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1、42ページのバス路線拡充について、トランジットモール区間内の10番線以外のバス乗り入れを考えているのか。あるいはトランジットモール周辺のバス路線の拡充のイメージであるのか。 ・ トランジットモール内にバスの乗り入れを行っていくとキッチンカー導入への制約がかかってくると考えられる。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス路線拡充についての詳細は今後検討を行っていくが、現段階ではトランジットモール区間内の乗り入れ及びトランジットモール時の周辺のバス路線を拡充するという両方をイメージしている。
<p>那覇市中心商店街 連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスナビを含む路線バスの運行情報についてトランジットモール時に関する情報提供が不十分ではないか。 	<p>(沖縄県バス協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモール当初には、実施時に迂回するバス停には黄色いステッカーを張っていた。 ・ トランジットモール時のわかりやすい案内表示については、早急に対応する予定。
<p>琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの案内表示については多言語化が必要である。 ・ 役割分担や周知活動は連合会・事業者と連携して取り組むことが必要。 	
<p>那覇市中心商店街 連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもろまち駅等の交通結節点から国際通りを含む中心市街地への集客を目的に10番線を位置付けたが、現状では10番線を活用しておもろまち駅から国際通りへ訪れる人は少ないと思われる。 	<p>(沖縄県バス協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10番線について、トランジットモール実施前から運行していた経緯もあり、中心市街地への集客を目的に10番線を位置付けたわけではない。

発言者	主な意見	回答など
<p>琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモールを活用した、バス事業者側の提案はあるか。 ・ 今までにトランジットモールに関連したバスに乗ってもらい取り組み等を実施したことはあるのか。 	<p>(沖縄県バス協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモールの魅力が向上すれば、公共交通の促進につながると考える。 <p>(那覇市国際通り連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本格実施後 2 か年間、10 番線のバスについて、国際通り内で買い物を行ったら半額になる事業を実施していた。
<p>那覇市中心商店街 連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットモールの目的は環境問題から始まったと考えられる。 ・ トランジットモールの目的について、再度明確にする必要があると考える。 	
<p>那覇市 国際大通り 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のビジョンについて、誰の為のビジョンであるのか明確にする必要がある。 ・ 今後、議論を進めるにあたり、あるべき姿を示す定性ビジョンと来訪者満足度を数値化し、目標を設定する定量ビジョンの 2 つを掲げる必要がある。 ・ 中長期のスケジュールについて、10 年間は長いと考える。100%の状態ではなく、ある程度方向性が固まった状態で実施し、取り組みを行う中で少しずつ修正することも必要ではないか。 ・ 以前行った通り会での意見交換の概要について、ビジョンに記載していただきたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 那覇市が計画策定者であるが、意見交換を踏まえ、事業者が主体となるような計画として考えている。 ・ 今後、関係機関の連携した運営体制を構築し、その中で議論を行いたい。

発言者	主な意見	回答など
<p>琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1、42 ページのビジョンの実現に向けた柱について、運営体制について立ち上げなければ今後議論が難しいと考えられるが、運営体制の設置について、通り会連合会はどのように考えているのか。 ・ 短期的な取り組みについて、事業者が行ってみたいものについて教えていただきたい。 	<p>(県庁駅前商店街振興組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元客の回帰を含めた街の賑わいを創出するための方法として、トランジットモールが位置付けられていると考える。 ・ 国際通りを舞台として使ってもらい仕組みを構築していけば、魅力的な通りになると考える。 ・ 運営体制については他府県ではまちづくり会社を設立し運営している好事例がある。国際通りでもまちづくり会社を設立し運営を行いたいと考えている。 <p>(中央通商店街振興組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを含めたトランジットモールの取り組みが商売、売上につながっていないところが大きな不満である。トランジットモールの在り方について、周辺事業者の売上等も考えたいと議論を進めていきたいと考えている。 ・ ビジョンについて、他の事業スケジュールに合わせて、スピード感を持った進め方が必要。 ・ 高齢者や健常者以外の方々アクセスしやすいような環境を目指していくべきである。 <p>(大通り商店街振興組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客と県民の交流を図ることがビジョン策定の基本的な考え方として、一番大事であると考えられる。 ・ 毎週日曜日の 12 時～18 時のトランジットモール実施に疑問を感じている事業者も多い。曜日・時間の変更や成功事例の導入等の実証実験を行いたい。 ・ 誰のためのトランジットモールであるのかという在り方についても今後整理を行うことが必要。

発言者	主な意見	回答など
		<p>(蔡温橋通り商店街振興組合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 今回のビジョンの実現に向けた柱について、早期的なビジョン実現を行うためにはまずは運営体制をしっかりと構築することが必要。 ▪ 運営体制については最低 3 年で PDCA サイクルを回すような仕組みづくりが必要であり、早めに運営体制を立ち上げるべきである。 ▪ 蔡温橋通りは、トランジットモール区間外ではあるが、運営体制については協力を行っていきたい。 <p>(那覇市中心商店街連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 今回策定するビジョンについて、現状の課題が解消されるのかが難しいと考えられる。3～5 年以内で良い方向へ向かっていけるように、周辺環境が目まぐるしく変化していく中で関係機関との運営体制をどのように構築していくかが鍵となると考える。 ▪ トランジットモール実施以降、地元密着型の大型店舗、老舗、個店が減少してきている現状もある。トランジットモールが県民と観光客が交流するための手段であるのか、再度議論が必要。 ▪ 国際通りを含む中心商店街の共通認識として、県民の方に来訪してもらい観光客と交流ができるような場を作りたいという考えがある。 ▪ 周辺商店街について、回遊性を高める取り組みも徐々に増えている。今後国際通りで実施するイベントと周辺商店街の回遊性を高めるイベントとの連携を図る必要がある。 ▪ 公共交通との連携については、実証実験を行い、定量的なデータで示しながら議論を進めていくことが必要。

発言者	主な意見	回答など
		<p>(国際通り商店街振興組合連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 運営体制については早めに実行できる体制ができることが理想的だと考える。その中で短期的に取り組むもの、中長期的に検討を進めていくものの棲み分けしながら、短期的に取り組めるものについては実証実験を含めて早めに行うことが必要であると感じている。 ▪ トランジットモール事務局側の立場では毎週日曜日のイベント実施は困難であると考えます。
<p>琉球大学 工学部工学科 社会基盤コース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ トランジットモール時にクルーズ船が寄港した際の対応についてもビジョンとして、掲げた方がよいと考える。 	
<p>那覇市 国際中央通 商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地元客向けの満足度について、近隣住民だけでなく、沖縄県民全体としての満足度として考えていくことが必要。 ▪ 国際通りを沖縄県民全体が集まる場所として認識して頂きたい。 	
<p>沖縄県 企画部 交通政策課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ OKIKA カード等の交通ICカードを活用した買い物割引を行えば、県民が公共交通を活用し国際通りのにぎわい創出の可能性があると考える。ICカードを活用したにぎわい創出を検討していくにあたり、ICカードは公共交通事業者の所有であるため、公共交通事業者にも運営体制の役員として加わって頂きたい。 	

5.2 ビジョン実現に向けた今後の進め方のイメージ

○関係機関等に期待したい役割

所 属 等		役割
事業者	那覇市国際通り商店街振興組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジョンの実現に向けた取組全般の推進 ● 取組の効果検証・改善
	那覇市国際通り県庁駅前商店街振興組合	
	那覇市国際中央通商店街振興組合	
	那覇市国際大通り商店街振興組合	
	那覇市国際蔡温橋通り商店街振興組合	
	那覇市中心商店街連合会	
行政	那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジョンの実現に向けた取組全般の推進 ● 取組の効果検証・改善
	沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	
	沖縄総合事務局 運輸部 企画室 陸上交通課	<ul style="list-style-type: none"> ● 渋滞改善に向けた取組での連携 ● 効果検証の協力
	沖縄県 企画部 交通政策課	
	沖縄県 土木建築部 道路管理課	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の利便性向上に向けた取組での連携 ● 効果検証の協力
	沖縄県 土木建築部 南部土木事務所 計画調査班	
	沖縄県警察本部 交通部 交通規制課	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路施設を活用した取組への助言 ● 効果検証の協力
	沖縄県那覇警察署 交通対策課	
	那覇市 都市計画部 都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ● 那覇市の将来計画との整合性
那覇市 建設管理部 道路管理課	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路施設を活用した取組への助言 ● 効果検証の協力 	
交通事業者	バス協会・バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジョン実現に向けた取組での連携 ● 効果検証の協力
	ハイヤー・タクシー協会	
	沖縄都市モノレール(株)	
学識経験者	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組効果のチェック ● 効果検証の協力

○スケジュール（短期）

短期（概ね3ヶ年）

外部環境			
牧志公設市場、那覇市民会館	2022年予定		
一銀通り整備事業	2026年予定		
	2018	2019	2020
I：中心商店街の賑わい創出			
a)オープンカフェ、キッチンカーや夜市等の実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
b)各種イベント開催	検討・実施	検討・実施	検討・実施
c)トランジットモール関連商品の開発	検討・実施	検討・実施	検討・実施
d)写真スポットの設置	検討・実施	検討・実施	検討・実施
e)ポケットパークなどの空間の有効活用	検討・実施	検討・実施	検討・実施
f)HP、チラシなど様々な媒体を活用した配信	検討・実施	検討・実施	検討・実施
II：環境整備			
b)トイレ環境の整備	設置可能性調査・検討		調査結果を踏まえ対応
c)休憩所（椅子とテーブル）の設置	検討・実施	検討・実施	検討・実施
d)ミストシャワーの設置	検討・実施	検討・実施	検討・実施
f)生活道路の安全対策	検討・実施	検討・実施	検討・実施
g)トランジットモール区間内の移動補助	安全性の検討 実証実験の検討実施	本格実施に向けた検討	
i)分かりやすい案内表示等	検討・実施	検討・実施	検討・実施
j)公共交通利用者への特典等	検討・実施	検討・実施	検討・実施
l)ルート案内や駐車場案内サービス導入	実証実験実施検討	効果検証及び本格実施に向けた検討	
n)荷捌き車両対策、交差点の改善	実証実験実施検討	効果検証及び本格実施に向けた検討	
III：運営体制			
a)地方公共団体を含めた運営主体の構築	立上		
b)各店舗との協力体制の強化	構築		
c)運営企画に特化した組織の立上	立上		
d)まちづくり会社の創設	検討・実施		
e)出店料など徴収の可能性	検討・実施		

※これらの施策について、今後優先順位を付けて取り組みを実施

○スケジュール（中長期）

中長期（概ね3～5年）

	2018	2020	2022
Ⅱ：環境整備			
a)開催日、時間、回数、区間の変更	調査・検討	本格実施に向けた検討 実証実験の実施・効果検証	
e)遮熱性舗装等の整備	調査・検討	実証実験の実施・効果検証	
h)バス路線拡充	バス路線拡充に向けた検討	バス路線拡充の実施	
k)モノレール駅、バスターミナルと連携した歩行連続性の確保	歩行連続性確保に向けた検討	整備	
m)車両横断箇所の検討	調査・検討	実証実験の実施・効果検証	

※これらの施策について、今後優先順位を付けて取り組みを実施

○ビジョン達成に向けたイメージ

「市民・県民・観光客、みんなが交流できる楽しい空間」

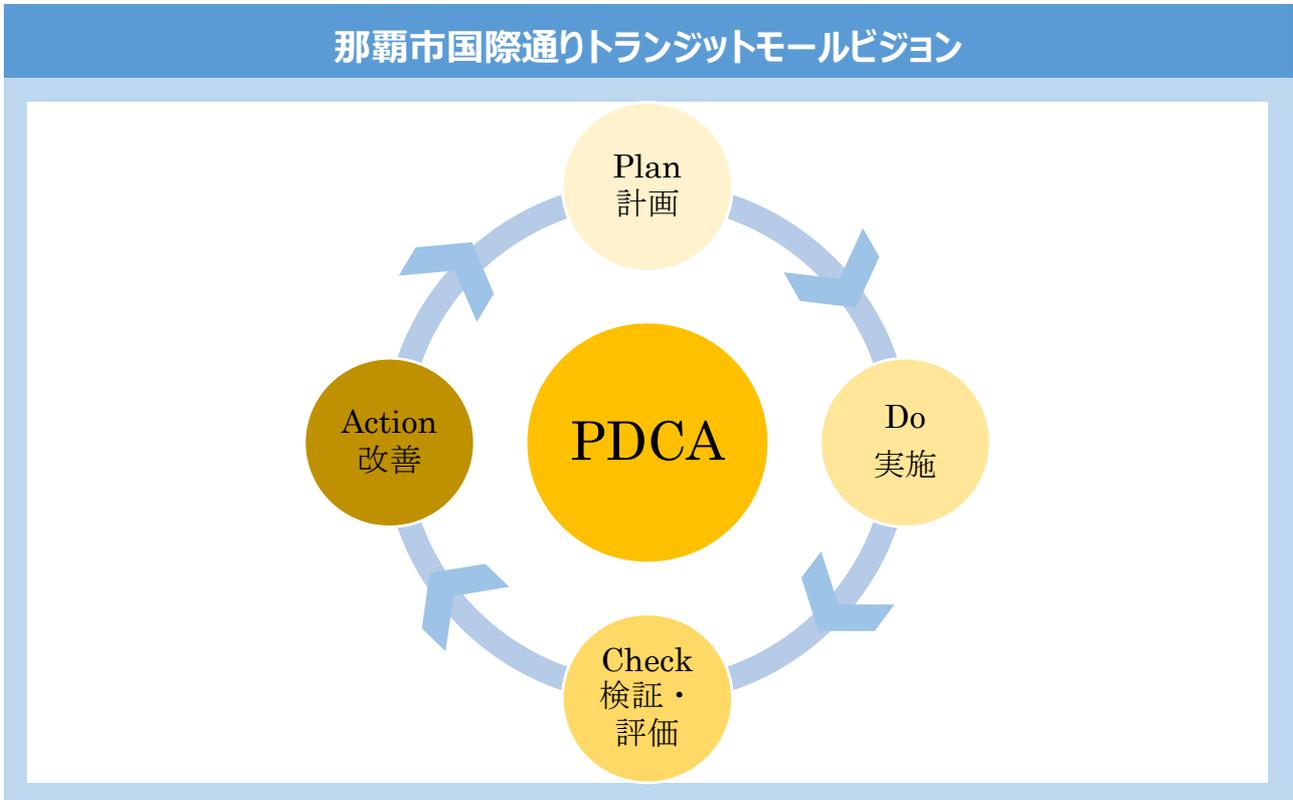
中心市街地の賑わい創出

環境整備の各種取組実施

運営体制の構築

○那覇市国際通りトランジットモールビジョンの推進に向けて

- 那覇市国際通りトランジットモールビジョンの推進に向けて、地方公共団体を含めた運営主体を中心に毎年 PDCA サイクルを実施しながら推進を図るものとします。



※毎年度、PDCA サイクルに携わる

地方公共団体を含めた 運営主体



指導・助言

**道路管理者
交通管理者**

※必要に応じて C (検証・評価) を行う

(仮称) トランジットモール 活性化会議

**事業者
行政
地域住民
学識経験者
道路管理者
交通管理者
交通事業者 等**

那覇市国際通り トランジットモールビジョン（将来像）

2018年 3月

那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課

〒900-8585 那覇市泉崎1 丁目1 番1 号

【電話】098-867-5260 【FAX】098-863-1752

編集協力：(株)中央建設コンサルタント
